



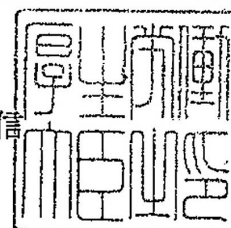
資料 2

厚生労働省発政統 1121 第 2 号

平成 29 年 11 月 21 日

統計委員会委員長
西村清彦 殿

厚生労働大臣
加藤 勝 信



諮問第 110 号

国民生活基礎調査に係る匿名データの作成について(諮問)

標記について、別紙のとおり作成するに当たり、統計法(平成 19 年法律第 53 号)第 35 条第 2 項の規定に基づき、統計委員会の意見を求める。

諮問の概要

(平成7及び25年国民生活基礎調査に係る匿名データの作成について)

今回、厚生労働省は、平成7及び25年国民生活基礎調査（以下、それぞれ「平成7年調査」及び「平成25年調査」という。）について、統計法（平成19年法律第53号）第35条第1項の規定に基づき、以下のとおり匿名データの作成を行うことを計画しているところである。

1 国民生活基礎調査について

本調査は、保健、医療、福祉、年金、所得等国民生活の基礎的事項を調査し、厚生労働行政の企画及び運営に必要な基礎資料を得ることを目的とするものであり、昭和61年を初年として3年ごとに大規模な調査（世帯票、健康票、介護票、所得票、貯蓄票）を実施し、中間の年は世帯票及び所得票のみの簡易な調査を実施することとしている。

国民生活基礎調査匿名データは、3年ごとの大規模年の調査を匿名データ化しており、これまで平成10年、13年、16年、19年及び22年のデータを提供している。

2 平成7年調査及び平成25年調査の匿名データを作成する理由

本調査の匿名データにおいて、平成10及び22年国民生活基礎調査（以下、それぞれ「平成10年調査」及び「平成22年調査」という。）の匿名データ作成については、過去に答申（「諮問第76号の答申国民生活基礎調査に係る匿名データの作成について」（平成27年1月29日府統委第6号））を得ており、データを提供しているところ。この度、平成7年調査及び平成25年調査についても同様の匿名化手法を用いつつ、社会情勢の変化や他調査の作成方法等を勘案し、匿名データを作成するものである。

3 匿名データの種類

平成7年調査及び平成25年調査の匿名データでは、それぞれ平成10年調査及び平成22年調査と同様に、以下の2種類の匿名データを作成する。

(1) 匿名データA（世帯票、健康票）：

人口、社会統計分野での世帯数の推計分析等を中心とした利用を想定

(2) 匿名データB（世帯票、健康票、所得票及び貯蓄票）：

世帯の所得及び貯蓄に関する分析等を中心とした利用を想定

4 匿名データの作成方法の変更点一覧

(1) 平成25年調査で追加された調査事項の提供

「1日平均睡眠時間」「睡眠による休養状況」、「飲酒状況」「飲酒量」、「健康のために日頃実行している事柄」、がん検診受診状況の「勤め先での受診状況」をそのまま提供予定。

(2) 平成7年調査の提供

平成10年調査に準じた作成方法により提供する。

(3) 「諮問第76号の答申国民生活基礎調査に係る匿名データの作成について」（平成27年1月29日府統委第6号）における検討事項への対応については別添7を参照。

別添一覧

別添 1 平成 7 年、平成25年国民生活基礎調査に係る匿名データの作成方法

別添 2 国民生活基礎調査に係る匿名データの審査表

別添 3 平成 7 年国民生活基礎調査の概要

別添 4 平成 7 年国民生活基礎調査 調査票様式

別添 5 平成25年国民生活基礎調査の概要

別添 6 平成25国民生活基礎調査 調査票様式

別添 7 前回答申における「今後の課題」への対応方法

平成 7 年、平成 25 年国民生活基礎調査に係る匿名データの作成方法

1 基本的な考え方

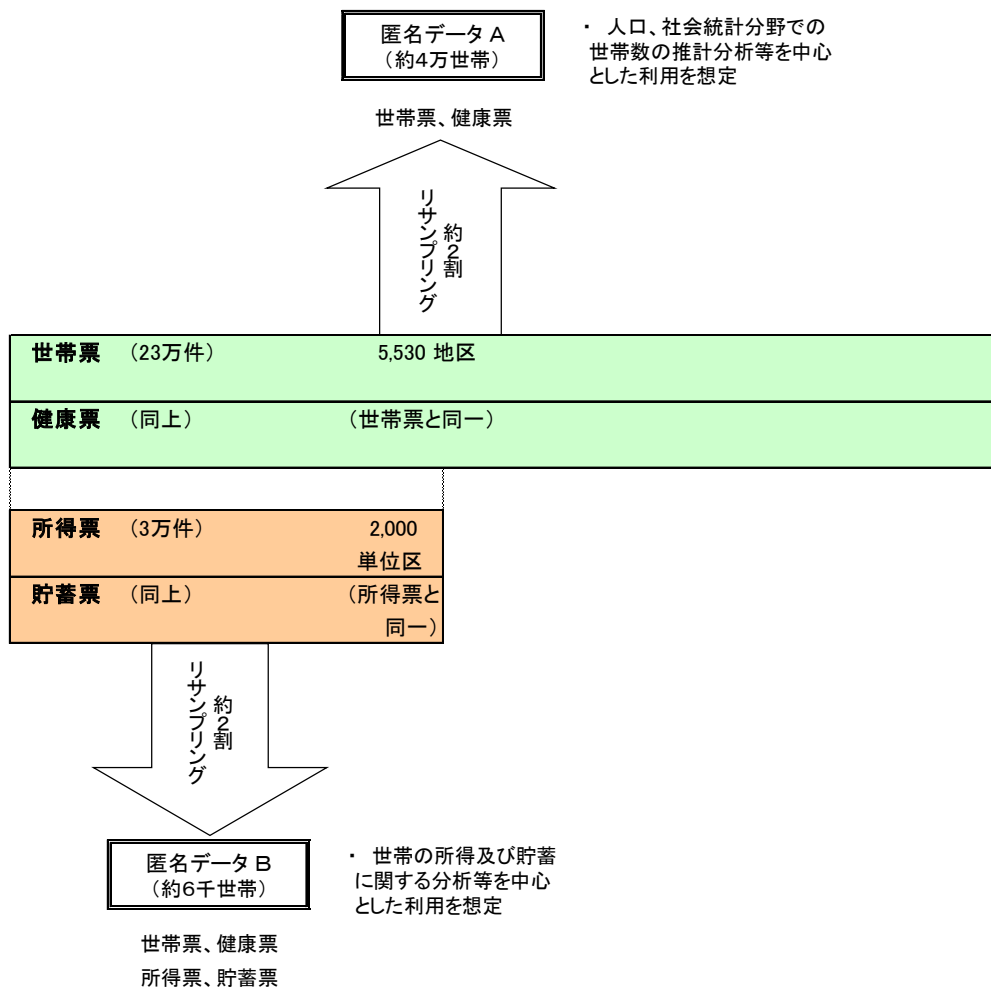
平成 10 年、平成 22 年調査に係る匿名データの作成方法に準拠した秘匿措置を講じて作成、提供する。ただし、社会情勢の変化や他調査の作成方法等を勘案し当該年次の特性に応じた措置を講じる。

2 作成する匿名データの構成概要

平成 10 年、平成 22 年調査に係る匿名データの種類と同様に、以下の 2 種類の匿名データを作成する。

匿名データの種類	匿名データの構成 (接続する調査票)	リサンプリング率 (提供レコード件数/本体調査の集計客体数)	拡大乗数	想定される利用ニーズ
A	世帯票、健康票	約 2 割 平成 7 年 (約 4 万/約 25 万世帯) 平成 25 年 (約 4 万/約 23 万世帯)	全国一律の拡大乗数を再付与する。	人口、社会統計分野での世帯数の推計分析等を中心とした利用を想定
B	世帯票、健康票 所得票、貯蓄票	約 2 割 平成 7 年 (約 8 千/約 3 万世帯) 平成 25 年 (約 6 千/約 3 万世帯)	拡大乗数は付与しない。	世帯の所得及び貯蓄に関する分析等を中心とした利用を想定

平成25年 国民生活基礎調査 匿名データ リサンプリング体系図



匿名データの審査表

統計調査名： 国民生活基礎調査	平成10年 (ベース年次)	平成7年 (追加年次)	変更理由・備考
母集団情報	7年国勢調査 調査区名簿	2年国勢調査 調査区名簿	当該年次調査の直近年次(最新)の情報から対象地区を抽出したため
リサンプリング	【第一段】国勢調査区抽出 都道府県・指定都市の国勢調査区数に比例するよう、都道府県・指定都市別に国勢調査区をリサンプリング 【第二段】世帯抽出 第一段でリサンプリングされた国勢調査区から世帯をリサンプリング 抽出率：全体の約2割	【第一段】国勢調査区抽出 都道府県・指定都市の国勢調査区数に比例するよう、都道府県・指定都市別に国勢調査区をリサンプリング 【第二段】世帯抽出 第一段でリサンプリングされた国勢調査区から世帯をリサンプリング 抽出率：全体の約2割	
しきい値	1%	1%	
世帯・個人識別情報の匿名化	以下の世帯を削除 ①世帯人員が8人以上の世帯 ②父子世帯 ③年齢差の大きい夫婦のいる世帯 i 夫が妻より20歳以上年上 ii 妻が夫より15歳以上年上 ④年齢差の大きい又は小さい親子のいる世帯 i 父親と末子の年齢差が55歳以上 ii 母親と末子の年齢差が50歳以上 iii 父親と長子の年齢差が15歳以下 iv 母親と長子の年齢差が10歳以下 ⑤同一年齢階級に4人以上の人員がいる世帯	以下の世帯を削除 ①世帯人員が8人以上の世帯 ②父子世帯 ③年齢差の大きい夫婦のいる世帯 i 夫が妻より20歳以上年上 ii 妻が夫より15歳以上年上 ④年齢差の大きい又は小さい親子のいる世帯 i 父親と末子の年齢差が55歳以上 ii 母親と末子の年齢差が50歳以上 iii 父親と長子の年齢差が15歳以下 iv 母親と長子の年齢差が10歳以下 ⑤同一年齢階級に4人以上の人員がいる世帯	① 世帯人員が8人以上の世帯 提供各年同様の秘匿措置 (識別情報の匿名化) ② 父子世帯 ③～⑤ 特定の世帯であることが明らかになる情報 (識別情報の匿名化)
ノイズやスワッピング処理	なし	なし	
世帯・個人を特定できる外部情報の有無	なし	なし	
データの並べ替え	同一世帯の世帯員は世帯員番号順を保ったまま世帯単位に乱数によりランダムに並び替え、その後データの世帯番号を付与	同一世帯の世帯員は世帯員番号順を保ったまま世帯単位に乱数によりランダムに並び替え、その後データの世帯番号を付与	
提供項目等 〔世帯票〕	○：そのまま提供 ▲：匿名化を講じて提供 ×：提供しない -：当該調査年に項目がない		
<世帯に関する情報>			
地域情報			
都道府県	×	×	地理的情報
地区番号	×	×	地理的情報
単位区番号	×	×	地理的情報
世帯番号	×	×	地理的情報
生活保護の状況	-	○ 「非保護世帯」と「その他の世帯」の区分	被保護世帯(0.77%)
世帯人員数	▲	▲	世帯・個人識別情報の匿名化
世帯構造7分類	▲	▲	世帯・個人識別情報の匿名化
世帯類型	▲	▲	父子世帯はレコード削除
住居の状況			
住居の種類	○	○	
建て方	○	○	
居住室数	▲ 10室以上トップコーディング	▲ 10室以上トップコーディング	10室以上(5.73%)
畳数 単位0.1畳	▲ ①6畳未満をボトムコーディング ②95畳以上をトップコーディング	▲ ①6畳未満をボトムコーディング ②95畳以上をトップコーディング	6畳未満(4.24) 95畳以上(0.76%)
作付可能な耕地面積	-	○ 「なし」「307-#未満」「30-507-#未満」「507-#以上」の4区分	
単独世帯の区分	○	○	
特定の転出者のいる世帯	▲ 「老人福祉施設入所者」「社会福祉施設入所者」「長期入院者」を「その他」として統合	▲ 「老人福祉施設入所者」「社会福祉施設入所者」「長期入院者」を「その他」として統合	

別紙様式第1号

匿名データの審査表

統計調査名： 国民生活基礎調査	平成10年 (ベース年次)	平成7年 (追加年次)	変更理由・備考
提供項目等 〔世帯票〕	○：そのまま提供 ▲：匿名化を講じて提供 ×：提供しない -：当該調査年に項目がない		
<世帯に関する情報>			
家計支出総額及び耐久消費財、冠婚葬祭費の有無			
家計支出総額	▲ トップコーディング 単独世帯120万円以上 2人以上世帯300万円以上	▲ トップコーディング ①単独世帯70万円以上 ②2人以上世帯170万円以上	支出額が減少している ①70万円以上(1.00%) ②170万円以上(1.02%)
耐久消費財	-	▲ トップコーディング ①単独世帯18万円以上 ②2人以上世帯50万円以上	①18万円以上(0.97%) ②50万円以上(1.01%)
冠婚葬祭費	-	▲ トップコーディング ①単独世帯11万円以上 ②2人以上世帯23万円以上	①11万円以上(0.84%) ②23万円以上(1.00%)
所得が最も多い者の世帯員 番号	○	○	
準同居の状況	▲ 二世帯、三世帯を準同居ありと 統合	-	
<世帯員に関する情報>			
世帯員番号	○	○	
世帯主との続柄	○	○	
性	○	○	
出生年月	▲ 年齢階級でリコーディング 85歳以上をトップコーディ ング	▲ 年齢階級でリコーディング 85歳以上をトップコーディ ング	85歳以上(1.26%)
配偶者の有無	○	○	
医療保険の加入状況			
医療保険の加入状況(種 類)	▲ 「船員保険」と「政管」を グルーピング	▲ 「船員保険」と「政管」を グルーピング	船員保険(0.7%)
医療保険の加入状況(市 町村・組合・本人・家 族)	○	○	
公的年金・恩給の受給状況	▲ 「福祉年金」「恩給」を 「その他」に統合	▲ 「福祉年金」「恩給」を 「その他」に統合	
介護の要否	▲ 2人以上いる世帯、レコード 削除	▲ 2人以上いる世帯、レコード 削除	2人以上いる世帯(0.07%)
仕事の有無	○	○	
勤めか自営かの別と仕事の内容(職業分類)			
勤めか自営かの別	○	○	
企業規模・官公庁の別	○	○	
職業分類番号	▲ 「農業」「林業」「漁業」 を統合	▲ 「農業」「林業」「漁業」 を統合	
公的年金の加入状況	○	○	
別居の子の有無			
別居の子の有無	○	○	
別居の子の数	▲ 4人以上でトップコーディング	-	
最も近くに住んでいる子 の居住場所	○	○	
乳幼児のいる世帯			
乳幼児の世帯員番号	×	-	
乳幼児の日中における保 育者の状況	○	-	

匿名データの審査表

統計調査名： 国民生活基礎調査	平成10年 (ベース年次)	平成7年 (追加年次)	変更理由・備考
提供項目等 【健康票】	○：そのまま提供 ▲：匿名化を講じて提供 ×：提供しない -：当該調査年に項目がない		
<世帯に関する情報>			
地域情報			
都道府県	×	×	地理的信息
地区番号	×	×	地理的信息
単位区番号	×	×	地理的信息
世帯番号	×	×	地理的信息
<世帯員に関する情報>			
通院に関する事項			
通院の有無	○	○	
往診の有無	-	○	「受けている」「受けていない」「不詳」の区分 有(2.88%)
傷病名	○	○	
最も気になる傷病(主傷病)	▲	▲	傷病分類を上位区分に再分類化
最も長く通っている傷病	▲	-	傷病分類を上位区分に再分類化
最も長く通っている傷病の通院期間	○	-	
最も気になる傷病の通院期間	-	○	「1週間未満」「1週～1月未満」「1月～3月未満」「3月～6月未満」「6月～1年未満」「1年～5年未満」「5年～10年未満」「10年以上」「不詳」の9区分
傷病治療状況	○	○	
傷病通院か所数	-	○	0～9カ所 1 類型に最大9カ所
主傷病通院状況	○	○	
主傷病通院か所数	-	○	0～9カ所 1 類型に最大9カ所
入院・入所に関する事項			
入院・入所の有無	○	○	
入院・入所期間	-	▲	7階級にリコーディング 1月未満～10年以上の区分
5月中の入院に関する事項			
5月中の入院・入所の有無	-	○	「していた」「していない」「不詳」「対象外」の区分
5月中に支払われた入院・入所費用等	-	▲	8階級にリコーディング 1万円未満～18万円以上の区分
自覚症状に関する事項			
自覚症状の有無	○	○	
自覚症状名	○	○	
自覚症状の治療状況	○	○	
主症状名	○	○	
主症状の治療状況	○	○	
かかりつけ医に関する事項			
かかりつけ医の有無	-	○	「該当あり」「該当なし」「不詳」「対象外」の区分
かかりつけ医の種類	-	○	「診療所」「職場の診療所」「大学病院」「総合病院」「その他の大きな病院」「不詳」「記入不要」の区分
過去1年間の受診に関する事項			
かかりつけ医等の受診	-	○	「該当あり」「該当なし」「記入不要」の区分
過去1月間の就床日数	○	○	
日常生活影響に関する事項			
日常生活影響の有無	○	○	
日常生活影響の事柄	○	○	
就床日数	○	○	
健康意識	○	○	

別紙様式第1号

匿名データの審査表

統計調査名： 国民生活基礎調査	平成10年 (ベース年次)	平成7年 (追加年次)	変更理由・備考
提供項目等 〔健康票〕	○：そのまま提供 ▲：匿名化を講じて提供 ×：提供しない -：当該調査年に項目がない		
<世帯員に関する情報>			
悩みやストレスに関する事項			
悩みやストレスの有無	○		○
悩みやストレスの原因	○		○
最も気になる悩みやストレスの原因	○		○
悩みやストレスの相談状況	▲	「民間の相談機関」「テレビ等」を「06上記01～05以外で相談している」にリコーディング	-
主原因の相談状況	▲	「民間の相談機関」「テレビ等」を「06上記01～06以外で相談している」にリコーディング	-
健康や人間ドックに関する事項			
健診受診の有無	○		○
健診を受けた理由	-		理由ごとに、「該当あり」「該当なし」の区分
健診を受けなかった理由	○		-
健康のために日頃実行している事柄	○		○

別紙様式第1号

匿名データの審査表

統計調査名： 国民生活基礎調査	平成10年 (ベース年次)	平成7年 (追加年次)	変更理由・備考
提供項目等 〔所得票〕	○：そのまま提供 ▲：匿名化を講じて提供 ×：提供しない -：当該調査年に項目がない		
<世帯に関する情報>			
地域情報			
都道府県	×	×	地理的信息
地区番号	×	×	地理的信息
単位区番号	×	×	地理的信息
世帯番号	×	×	地理的信息
世帯区分	×	×	
生活意識	○	○	
総所得	▲ トップコーディング 単独世帯1,100万円以上 2人以上世帯2,200万円以上	▲ トップコーディング ①単独世帯1,100万円以上 ②2人以上世帯2,200万円以上	①1,100万円以上(1.37%) ②2,200万円以上(1.93%)
課税等の状況 (税金+社会保険)	▲ トップコーディング 単独世帯250万円以上 2人以上世帯490万円以上	▲ トップコーディング ①単独世帯250万円以上 ②2人以上世帯490万円以上	①250万円以上(1.47%) ②490万円以上(2.38%)
前年1年間に所得のあった 世帯人員数	-	▲ トップコーディング 5人以上(0.9%)	
世帯主の税法上の扶養親族 数	-	▲ トップコーディング 5人以上(1.75%)	
<世帯員に関する情報>			
性	×	×	
出生年月	×	×	
所得の種類			
雇用者所得	×	×	
事業所得	×	×	
農耕・畜産所得	×	×	
家内労働所得	×	×	
公的年金・恩給	×	×	
家賃・地代の所得	×	×	
利子・配当金	×	×	
その他の社会保障給付金	×	×	
仕送り	×	×	
その他の所得	×	×	
課税等の状況			
所得税	×	×	
住民税	×	×	
社会保険料	×	×	
固定資産税	×	×	

別紙様式第1号

匿名データの審査表

統計調査名： 国民生活基礎調査	平成10年 (ベース年次)	平成7年 (追加年次)	変更理由・備考
提供項目等 【貯蓄票】	○：そのまま提供 ▲：匿名化を講じて提供 ×：提供しない -：当該調査年に項目がない		
<世帯に関する情報>			
地域情報			
都道府県	×	×	地理的信息
地区番号	×	×	地理的信息
単位区番号	×	×	地理的信息
世帯番号	×	×	地理的信息
貯蓄に関する事項			
貯蓄現在高階級	○	○	「貯蓄なし」「50万円未満」「50-100万円未満」「100-200」「200-300」「300-400」「400-500」「500-700」「700-1000」「1000-1500」「1500-3000」「3000万円以上」「不詳」の13区分
貯蓄残高の増減に関する事項			
貯蓄の増減	○	○	
貯蓄現在高の昨年との比較	-	○	「100万円以上増えた」「100万円未満増えた」「変わらない」「100万円以上減った」「100万円未満減った」「増えた(金額不明)」「減った(金額不明)」「不詳」の8区分
減少額	▲	-	トップコーディング 単独世帯800万円以上 2人以上世帯1,300万円以上
減少理由	○	-	
借入金に関する事項			
借入金残高階級	○	○	

別紙様式第1号

匿名データの審査表

統計調査名： 国民生活基礎調査	平成22年 (ベース年次)	平成25年 (追加年次)	変更理由・備考
母集団情報	17年国勢調査 調査区名簿	22年国勢調査 調査区名簿	当該年次調査の直近年次(最新)の情報から対象地区を抽出したため
リサンプリング	【第一段】 国勢調査区抽出 都道府県・指定都市の国勢調査区数に比例するよう、都道府県・指定都市別に国勢調査区をリサンプリング 【第二段】 世帯抽出 第一段でリサンプリングされた国勢調査区から世帯をリサンプリング 抽出率： 全体の約2割	【第一段】 国勢調査区抽出 都道府県・指定都市の国勢調査区数に比例するよう、都道府県・指定都市別に国勢調査区をリサンプリング 【第二段】 世帯抽出 第一段でリサンプリングされた国勢調査区から世帯をリサンプリング 抽出率： 全体の約2割	
しきい値	1%	1%	
世帯・個人識別情報の匿名化	以下の世帯を削除 ①世帯人員が8人以上の世帯 ②父子世帯 ③年齢差の大きい夫婦のいる世帯 i 夫が妻より20歳以上年上 ii 妻が夫より15歳以上年上 ④年齢差の大きい又は小さい親子のいる世帯 i 父親と末子の年齢差が55歳以上 ii 母親と末子の年齢差が50歳以上 iii 父親と長子の年齢差が15歳以下 iv 母親と長子の年齢差が10歳以下 ⑤同一年齢階級に4人以上の人員がいる世帯	以下の世帯を削除 ①世帯人員が8人以上の世帯 ②父子世帯 ③年齢差の大きい夫婦のいる世帯 i 夫が妻より20歳以上年上 ii 妻が夫より15歳以上年上 ④年齢差の大きい又は小さい親子のいる世帯 i 父親と末子の年齢差が55歳以上 ii 母親と末子の年齢差が50歳以上 iii 父親と長子の年齢差が15歳以下 iv 母親と長子の年齢差が10歳以下 ⑤同一年齢階級に4人以上の人員がいる世帯	① 世帯人員が8人以上の世帯 提供各年同様の秘匿措置(識別情報の匿名化) ② 父子世帯 ③～⑤ 特定の世帯であることが明らかになる情報(識別情報の匿名化)
ノイズやスワッピング処理	なし	なし	
世帯・個人を特定できる外部情報の有無	なし	なし	
データの並べ替え	同一世帯の世帯員は世帯員番号順を保ったまま世帯単位に乱数によりランダムに並び替え、その後データの世帯番号を付与	同一世帯の世帯員は世帯員番号順を保ったまま世帯単位に乱数によりランダムに並び替え、その後データの世帯番号を付与	
提供項目等 〔世帯票〕	○：そのまま提供 ▲：匿名化を講じて提供 ×：提供しない -：当該調査年に項目がない		
<世帯に関する情報>			
地域情報			
都道府県	×	×	地理的情報
地区番号	×	×	地理的情報
単位区番号	×	×	地理的情報
世帯番号	×	×	地理的情報
世帯人員数	▲	▲	世帯・個人識別情報の匿名化
世帯構造7分類	▲	▲	世帯・個人識別情報の匿名化
世帯類型	▲	▲	父子世帯はレコード削除
住居の状況			
住居の種類	○	○	
建て方	○	○	
居住室数	▲	▲	10室以上(4.58%)
住宅の床面積	▲	▲	20㎡未満(5.47%) 300㎡以上(0.83%)
単独世帯の区分	○	○	
同居していない者の状況	▲	▲	

別紙様式第1号

匿名データの審査表

統計調査名： 国民生活基礎調査	平成22年 (ベース年次)	平成25年 (追加年次)	変更理由・備考
提供項目等 〔世帯票〕	○：そのまま提供 ▲：匿名化を講じて提供 ×：提供しない -：当該調査年に項目がない		
家計支出総額及び親・子への仕送り			
家計支出総額	▲ トップコーディング ①単独世帯55万円以上 ②2人以上世帯100万円以上	▲ トップコーディング ①単独世帯55万円以上 ②2人以上世帯100万円以上	単独 55万円以上(0.86%) 2人以上 100万円以上 (0.82%)
親への仕送り	▲ 6万円以上トップコーディング	▲ 6万円以上トップコーディング	6万円以上(0.85%)
子の仕送り	▲ 16万円以上トップコーディング	▲ 16万円以上トップコーディング	16万円以上(0.56%)
育児費用	▲ 7万円以上トップコーディング	▲ 7万円以上トップコーディング	7.1万円以上(0.96%)
<世帯員に関する情報>			
世帯員番号	○	○	
世帯主との続柄	○	○	
性	○	○	
出生年月	▲ 年齢階級で提供 90歳以上トップコーディング	▲ 年齢階級で提供 90歳以上トップコーディング	90歳以上(1.05%)
配偶者の有無	○	○	
医療保険の加入状況	○	○	
最多所得者か否か	▲ 「最多所得者」「家計補助者又は被扶養者」の2区分にリコーディング	▲ 「最多所得者」「家計補助者又は被扶養者」の2区分にリコーディング	
公的年金・恩給の受給状況	▲ 「福祉年金」「恩給」を「その他」に統合	▲ 「福祉年金」「恩給」を「その他」に統合 「受給なし」を追加	
教育			
在卒の有無	▲ 「3 在学したことがない」を「2 卒業」に統合	▲ 「3 在学したことがない」を「2 卒業」に統合	
学校の種類	○	○	
手助け見守りの要否	▲ 2人以上いる世帯はレコード削除	▲ 2人以上いる世帯はレコード削除	2人以上(1.18%)
要介護認定の有無	▲ 要介護者2人以上削除	▲ 要介護者2人以上削除	要介護者2人以上(0.44%)
日常生活の自立の状況	○	○	
手助け見守りを要する状態になってからの期間	▲ 「1月未満」「1～3月未満」「3～6月未満」「6月～1年未満」を「1年未満」に統合	▲ 「1月未満」「1～3月未満」「3～6月未満」「6月～1年未満」を「1年未満」に統合	
仕事の有無	▲ 「3主に通学で仕事あり」「4その他」を「その他(仕事あり)」に統合	▲ 「3主に通学で仕事あり」「4その他」を「その他(仕事あり)」に統合	
就業時期・就業期間			
1週間に仕事をした日数	○	○	
1週間に仕事をした時間	▲ 80時間以上でトップコーディング	▲ 80時間以上でトップコーディング	80時間以上(0.73%)
就業期間	▲ 50年以上でトップコーディング	▲ 50年以上でトップコーディング	50年以上(1.22%)
現在の主な仕事			
仕事の内容(職業分類)	○	○	
勤め・自営かの別	○	○	
勤め先での呼称	○	○	
企業規模・官公庁の別	○	○	
仕事のない者の状況			
就業希望の有無	○	○	
仕事の形の希望	○	○	
すぐにも仕事につけるか	○	○	
仕事を探しているか	○	○	
仕事につけない理由	○	○	
公的年金の加入状況	○	○	
別居の子の有無			
最も近くに住んでいる子の居住場所	○	○	
乳幼児のいる世帯			
乳幼児の日中における保育者の状況	○	○	

別紙様式第1号

匿名データの審査表

統計調査名： 国民生活基礎調査	平成22年 (ベース年次)	平成25年 (追加年次)	変更理由・備考
提供項目等 〔健康票〕	○：そのまま提供 ▲：匿名化を講じて提供 ×：提供しない -：当該調査年に項目がない		
<世帯に関する情報>			
地域情報			
都道府県	×	×	地理的信息
地区番号	×	×	地理的信息
単位区番号	×	×	地理的信息
世帯番号	×	×	地理的信息
医療費世帯総額	▲	-	
<世帯員に関する情報>			
通院に関する事項			
通院の有無	○	○	
傷病名	○	○	
最も気になる傷病（主傷病）	▲	▲	傷病を上位区分に再分類化
入院・入所に関する事項			
入院・入所の有無	○	○	
自覚症状に関する事項			
自覚症状の有無	○	○	
自覚症状名	○	○	
主症状名	○	○	
主症状の治療状況	○	○	
日常生活影響に関する事項			
日常生活影響の有無	○	○	
日常生活影響の事柄	○	○	
普段の活動に関する項目			
普段の活動ができなかった日の有無	○	○	
過去1か月間の普段の活動が出来なかった日数	▲	▲	25日以上でトップコーディング
健康意識	○	○	
悩みやストレスに関する事項			
悩みやストレスの有無	○	○	
悩みやストレスの原因	○	○	
最も気になる悩みやストレスの原因（主原因）	○	○	
悩みやストレスの相談状況	▲	▲	出現頻度の低い事項を統合
主原因の相談状況	▲	▲	出現頻度の低い事項を統合
睡眠・休養			
1日平均睡眠時間	-	○	「5時間未満」「5-6時間未満」「6-7時間未満」「7-8時間未満」「8-9時間未満」「9時間以上」「不詳」の7区分
睡眠による休養状況	-	○	「充分とれている」「まあまあとれている」「あまりとれていない」「まったくとれていない」「不詳」の5区分
こころの状態(6項目)			
こころの状態の合計点	○	○	
飲酒に関する事項			
飲酒状況	-	○	「毎日」「週5-6日」「週3-4日」「週1-2日」「月1-3日」「ほとんど飲まない」「やめた」「飲まない」「不詳」の9区分
飲酒量	-	○	「1合未満」「1-2合未満」「2-3合未満」「3-4合未満」「4-5合未満」「5合以上」「不詳」の7区分
喫煙に関する事項			
喫煙の状況	○	○	
平均喫煙本数	○	○	
健康のために日頃実行している事柄	-	○	事柄ごとに、「実行してない」「実行している」の区分
健診や人間ドックに関する事項			
健診受診の有無	○	○	
健診を受けた機関	○	-	
健診等結果、指摘の有無	○	-	
専門家の指導勧奨等	○	-	
保健指導後の健康管理	○	-	
医療機関への受診勧奨等	○	-	
健診を受けなかった理由	○	○	
過去1年間のがん検診	○	○	
勤め先での受診状況	-	○	健診ごとに、「該当有り」「該当なし」「不詳」の区分
過去2年間の女性がん受診状況	○	○	

別紙様式第1号

匿名データの審査表

統計調査名： 国民生活基礎調査	平成22年 (ベース年次)	平成25年 (追加年次)	変更理由・備考
提供項目等 〔所得票〕	○：そのまま提供 ▲：匿名化を講じて提供 ×：提供しない -：当該調査年に項目がない		
<世帯に関する情報>			
地域情報			
都道府県	×	×	地理的信息
地区番号	×	×	地理的信息
単位区番号	×	×	地理的信息
世帯番号	×	×	地理的信息
世帯区分	×	×	
生活意識	○	○	
総所得	▲ トップコーディング 単独世帯1,100万円以上 2人以上世帯2,200万円以上	▲ トップコーディング ①単独世帯1,100万円以上 ②2人以上世帯2,200万円以上	①1,100万円以上(0.94%) ②2,200万円以上(0.82%)
雇業者所得	×	▲ トップコーディング ①単独世帯800万円以上 ②2人以上世帯1,700万円以上	①800万円以上(2.5%) ②1,700万円以上(1.02%)
公的年金・恩給	×	▲ トップコーディング ①単独世帯300万円以上 ②2人以上世帯500万円以上	①300万円以上(2.1%) ②500万円以上(1.07%)
課税等の状況			
税金＋社会保険	▲ トップコーディング 単独世帯250万円以上 2人以上世帯490万円以上	▲ トップコーディング ①単独世帯250万円以上 ②2人以上世帯490万円以上	①250万円以上(1.34%) ②490万円以上(1.38%)
掛金	▲ トップコーディング 単独世帯40万円以上 2人以上世帯80万円以上	▲ トップコーディング ①単独世帯40万円以上 ②2人以上世帯80万円以上	①40万円以上(1.19%) ②80万円以上(1.01%)
<世帯員に関する情報>			
性	×	×	
出生年月	×	×	
所得の種類			
雇業者所得	×	×	
事業所得	×	×	
農耕・畜産所得	×	×	
家内労働所得	×	×	
財産所得	×	×	
公的年金・恩給	×	×	
雇用保険	×	×	
児童手当等	×	×	
その他の社会保障給付金	×	×	
仕送り	×	×	
企業年金・個人年金等	×	×	
その他の所得	×	×	
課税等の状況			
所得税	×	×	
住民税	×	×	
社会保険料	×	×	
固定資産税	×	×	
企業年金・個人年金等	×	×	

別紙様式第1号

匿名データの審査表

統計調査名： 国民生活基礎調査	平成22年 (ベース年次)	平成25年 (追加年次)	変更理由・備考
提供項目等 〔貯蓄票〕	○：そのまま提供 ▲：匿名化を講じて提供 ×：提供しない -：当該調査年に項目がない		
<世帯に関する情報>			
地域情報			
都道府県	×	×	地理的信息
地区番号	×	×	地理的信息
単位区番号	×	×	地理的信息
世帯番号	×	×	地理的信息
貯蓄に関する事項			
貯蓄等の有無	○	○	
貯蓄現在額	▲ トップコーディング 単独世帯6,300万円以上 2人以上世帯9,000万円以上	▲ トップコーディング ①単独世帯6,300万円以上 ②2人以上世帯9,000万円以上	①6,314万円以上(1.06%) ②9,000万円以上(0.93%)
貯蓄残高の増減に関する事項			
貯蓄の増減	○	○	
減少額	▲ トップコーディング 単独世帯800万円以上 2人以上世帯1,300万円以上	▲ トップコーディング ①単独世帯800万円以上 ②2人以上世帯1,300万円以上	①800万円以上(1.18%) ②1,300万円以上(0.94%)
減少理由	○	○	
借入金に関する事項			
借入金の有無	○	○	
借入金残高	▲ トップコーディング 単独世帯2,400万円以上 2人以上世帯4,000万円以上	▲ トップコーディング ①単独世帯2,400万円以上 ②2人以上世帯4,000万円以上	①2,400万円以上(1.18%) ②4,000万円以上(1.10%)

調査の概要

(1) 調査の目的

この調査は、保健、医療、年金、福祉、所得等、国民生活の基礎的事項を調査し、厚生行政の企画及び運営に必要な基礎資料を得ることを目的とするものであり、昭和61年を初年として3年ごとに大規模な調査を実施し、中間の各年は、小規模な調査を実施することとしている。

平成7年は、第4回目の大規模調査の実施年であった。

(2) 調査の対象及び客体

全国（兵庫県を除く。）の世帯及び世帯員を対象とし、世帯票及び健康票については、平成2年国勢調査区から層化無作為抽出した5,100地区内のすべての世帯（約27万世帯）及び世帯員（約80万人）を、所得票及び貯蓄票については、前記の5,100地区に設定された単位区から無作為に抽出した2,000単位区内のすべての世帯（約4万世帯）及び世帯員（約16万人）を調査の客体とした。

（注：「単位区」とは、推計精度の向上、調査員の負担平準化等を図るため、一つの国勢調査区を地理的に分割したものである。）

(3) 調査の実施日

世帯票・健康票 平成7年6月1日（木）

所得票・貯蓄票 平成7年7月13日（木）

（注：所得については、平成6年1月1日から12月31日までの1年間の所得を、貯蓄・借入金については、平成7年6月末日現在の貯蓄額・借入金残高を調査した。）

(4) 調査の事項

世帯票 住居の状況、家計支出額、世帯主との続柄、性、出生年月、配偶者の有無、介護の要否、主な介護者の状況、寝たきりか否か、仕事の状況、医療保険・年金の加入状況、公的年金・恩給の受給状況、別居の子の有無ほか

健康票 入院・入所の状況、健康意識、自覚症状、通院・通所等の状況、日常生活への影響、健康診断等の受診状況、日ごろ実行している事柄、悩み事やストレスの状況ほか

所得票 所得の種類別金額、税金・社会保険料、世帯主の税法上の扶養親族数、生活意識

貯蓄票 貯蓄現在高、貯蓄の増減の状況、借入金残高

(5) 調査の方法

世帯票及び所得票については、調査員が世帯を訪問し、面接聞き取りの上、調査票に記入する方法により行った。健康票及び貯蓄票については、あらかじめ調査員が配布した調査票に世帯員が自ら記入し、後日、調査員が回収する方法により行った。この場合、貯蓄票は密封回収とした。

(6) 調査の系統

世帯票・健康票 厚生省—都道府県・指定都市—（保健所設置市・特別区）—保健所—指導員—調査員

所得票・貯蓄票 厚生省—都道府県・指定都市—福祉事務所—指導員—調査員

(7) 結果の集計

結果の集計は、厚生省大臣官房統計情報部において行った。

指定記録簿118号
厚1-1-21-1
平成7年2月8日現在

国民生活基礎調査

(平成7年6月1日調査)
【世帯票】

保健所名
調査員氏名

在宅の6歳以上の者が「1票」の者のみ記入		主介護者の状況		00で1~3の者のみ記入			
(10) 要介護者の世帯員番号(第2票から記入)	(11) 調査日前日(5月31日)の要介護時間の要介護時間	(12) 同僚の別居世帯員番号(第2票から記入)	(13) 同僚の性別	(14) 主な原因	(15) 期間	(16) 5月中にかかった費用	
						(17) 性別	(18) 千円
1 介護	1 1時間以上 2 30分 3 15分 4 10分 5 5分 6 3分 7 その他	1 同居 2 別居	1 男性 2 女性	1 脳卒中 2 心臓病 3 骨折・転倒 4 97ウィル 5 痴呆 6 その他	1 1月未満 2 1月以上 3 3月未満 4 3月以上 5 6月以上 6 6月以上 7 1年以上 8 1年以上 9 その他	1 療養費 2 入院費 3 介護費 4 サービス 5 医療費 6 その他	1 千円 2 千円 3 千円 4 千円 5 千円 6 千円 7 千円
2 介護	1 1時間以上 2 30分 3 15分 4 10分 5 5分 6 3分 7 その他	1 配偶者 2 子 3 子の配偶者 4 父母 5 その他の親族 6 ホームヘルパー 7 家政婦 8 その他	1 男性 2 女性	1 脳卒中 2 心臓病 3 骨折・転倒 4 97ウィル 5 痴呆 6 その他	1 1月未満 2 1月以上 3 3月未満 4 3月以上 5 6月以上 6 6月以上 7 1年以上 8 1年以上 9 その他	1 療養費 2 入院費 3 介護費 4 サービス 5 医療費 6 その他	1 千円 2 千円 3 千円 4 千円 5 千円 6 千円 7 千円
3 介護	1 1時間以上 2 30分 3 15分 4 10分 5 5分 6 3分 7 その他	1 配偶者 2 子 3 子の配偶者 4 父母 5 その他の親族 6 ホームヘルパー 7 家政婦 8 その他	1 男性 2 女性	1 脳卒中 2 心臓病 3 骨折・転倒 4 97ウィル 5 痴呆 6 その他	1 1月未満 2 1月以上 3 3月未満 4 3月以上 5 6月以上 6 6月以上 7 1年以上 8 1年以上 9 その他	1 療養費 2 入院費 3 介護費 4 サービス 5 医療費 6 その他	1 千円 2 千円 3 千円 4 千円 5 千円 6 千円 7 千円

地区番号	単位区番号	世帯番号	生活保護状況(保健所で記入)	1 被保護世帯	2 その他の世帯
(1) 住居の状況					
1 持ち家					
2 民間賃貸住宅					
3 社宅・公務員住宅等の給与住宅					
4 公社・公団等の賃貸公営住宅					
5 借間・その他					
(2) 居住室数及び床数					
1 一戸建て					
2 共同住宅					
(3) 作付可能な耕地面積					
1 なし					
2 30アール未満					
3 30アール以上 50アール未満					
4 50アール以上					
(4) 平成7年5月中の家計支出額					
1 新久消費財支出の有無					
2 新久消費財					
3 冠婚葬祭費					
(5) 最多所得者の世帯員番号(第2面から転記)					
番号					
(6) 特定の転出者(1~5)のいる世帯(歳当世帯のみ記入)					
1 単身赴任者を送り出している世帯					
2 学業のため別居している者がいる世帯					
3 長期入院者(住民登録の場所を転居に移している者)がいる世帯					
4 老人福祉施設に入所している者がいる世帯					
5 社会福祉施設(老人福祉施設を除く)に入所している者がいる世帯					
(7) 単独世帯の区分(単独世帯のみ記入)					
1 住み込み又は寄宿舎等に居住する単独世帯					
2 その他の単独世帯					

01で「[区]」の番号は第4番へ
02で「[区]」の番号は第4番へ
03で「[区]」の番号は第4番へ
04で「[区]」の番号は第4番へ
05で「[区]」の番号は第4番へ

世帯番号	世帯主との続柄	性別	出生年月	配偶者の有無	医療保険の加入状況	所得を伴う仕事の有無	15歳以上の者のみ記入		公的年金加入状況	公的年金・恩給の支給状況	世帯員としていない15歳以上の者のみ記入	介護の要否
							勤めか自営かの別	加入状況				
01	世帯主	1男 2女	1 明治 2 大正 3 昭和 4 平成 年 月	1 有配偶 2 未婚 3 死亡 4 離別	1 国民健康保険 2 国民年金 3 国民健康保険 4 国民年金 5 国民健康保険 6 その他	1 有 2 主職(専業) 3 生徒・学生 4 その他	1 勤め主(個人のみ) 2 勤め主(個人のみ) 3 勤め主(個人のみ) 4 勤め主(個人のみ) 5 勤め主(個人のみ) 6 勤め主(個人のみ) 7 勤め主(個人のみ) 8 勤め主(個人のみ) 9 その他	1 国民年金第1号 2 国民年金 3 国民年金 4 国民年金 5 国民年金 6 加入していない	1 基礎年金 2 厚生年金 3 国民年金 4 国民年金 5 国民年金 6 国民年金 7 国民年金 8 国民年金 9 その他 10 支給していない	1 同一家庭 2 近親地域 3 同一市町村 4 その他の地域 5 無	1 自立 2 一部介助 3 介助 4 介助	
02	配偶者 子の配偶者 孫の配偶者 世帯主の父母 配偶者の父母 祖父 兄弟姉妹 その他の親族	1男 2女	1 明治 2 大正 3 昭和 4 平成 年 月	1 有配偶 2 未婚 3 死亡 4 離別	1 国民健康保険 2 国民年金 3 国民健康保険 4 国民年金 5 国民健康保険 6 その他	1 有 2 主職(専業) 3 生徒・学生 4 その他	1 勤め主(個人のみ) 2 勤め主(個人のみ) 3 勤め主(個人のみ) 4 勤め主(個人のみ) 5 勤め主(個人のみ) 6 勤め主(個人のみ) 7 勤め主(個人のみ) 8 勤め主(個人のみ) 9 その他	1 国民年金第1号 2 国民年金 3 国民年金 4 国民年金 5 国民年金 6 加入していない	1 基礎年金 2 厚生年金 3 国民年金 4 国民年金 5 国民年金 6 国民年金 7 国民年金 8 国民年金 9 その他 10 支給していない	1 同一家庭 2 近親地域 3 同一市町村 4 その他の地域 5 無	1 自立 2 一部介助 3 介助 4 介助	
03	配偶者 子の配偶者 孫の配偶者 世帯主の父母 配偶者の父母 祖父 兄弟姉妹 その他の親族	1男 2女	1 明治 2 大正 3 昭和 4 平成 年 月	1 有配偶 2 未婚 3 死亡 4 離別	1 国民健康保険 2 国民年金 3 国民健康保険 4 国民年金 5 国民健康保険 6 その他	1 有 2 主職(専業) 3 生徒・学生 4 その他	1 勤め主(個人のみ) 2 勤め主(個人のみ) 3 勤め主(個人のみ) 4 勤め主(個人のみ) 5 勤め主(個人のみ) 6 勤め主(個人のみ) 7 勤め主(個人のみ) 8 勤め主(個人のみ) 9 その他	1 国民年金第1号 2 国民年金 3 国民年金 4 国民年金 5 国民年金 6 加入していない	1 基礎年金 2 厚生年金 3 国民年金 4 国民年金 5 国民年金 6 国民年金 7 国民年金 8 国民年金 9 その他 10 支給していない	1 同一家庭 2 近親地域 3 同一市町村 4 その他の地域 5 無	1 自立 2 一部介助 3 介助 4 介助	
04	配偶者 子の配偶者 孫の配偶者 世帯主の父母 配偶者の父母 祖父 兄弟姉妹 その他の親族	1男 2女	1 明治 2 大正 3 昭和 4 平成 年 月	1 有配偶 2 未婚 3 死亡 4 離別	1 国民健康保険 2 国民年金 3 国民健康保険 4 国民年金 5 国民健康保険 6 その他	1 有 2 主職(専業) 3 生徒・学生 4 その他	1 勤め主(個人のみ) 2 勤め主(個人のみ) 3 勤め主(個人のみ) 4 勤め主(個人のみ) 5 勤め主(個人のみ) 6 勤め主(個人のみ) 7 勤め主(個人のみ) 8 勤め主(個人のみ) 9 その他	1 国民年金第1号 2 国民年金 3 国民年金 4 国民年金 5 国民年金 6 加入していない	1 基礎年金 2 厚生年金 3 国民年金 4 国民年金 5 国民年金 6 国民年金 7 国民年金 8 国民年金 9 その他 10 支給していない	1 同一家庭 2 近親地域 3 同一市町村 4 その他の地域 5 無	1 自立 2 一部介助 3 介助 4 介助	
05	配偶者 子の配偶者 孫の配偶者 世帯主の父母 配偶者の父母 祖父 兄弟姉妹 その他の親族	1男 2女	1 明治 2 大正 3 昭和 4 平成 年 月	1 有配偶 2 未婚 3 死亡 4 離別	1 国民健康保険 2 国民年金 3 国民健康保険 4 国民年金 5 国民健康保険 6 その他	1 有 2 主職(専業) 3 生徒・学生 4 その他	1 勤め主(個人のみ) 2 勤め主(個人のみ) 3 勤め主(個人のみ) 4 勤め主(個人のみ) 5 勤め主(個人のみ) 6 勤め主(個人のみ) 7 勤め主(個人のみ) 8 勤め主(個人のみ) 9 その他	1 国民年金第1号 2 国民年金 3 国民年金 4 国民年金 5 国民年金 6 加入していない	1 基礎年金 2 厚生年金 3 国民年金 4 国民年金 5 国民年金 6 国民年金 7 国民年金 8 国民年金 9 その他 10 支給していない	1 同一家庭 2 近親地域 3 同一市町村 4 その他の地域 5 無	1 自立 2 一部介助 3 介助 4 介助	

国民生活基礎調査【健康票】

(平成7年6月1日調査)

指定検診券116号
厚1-1-21-2
平成7年2月3日登録

調査員が記入
地区番号 市区町村番号 世帯番号
1 男 2 女 3 昭和 4 平成
1 男 2 女 3 昭和 4 平成

記入上のお願ひ： お答えは、あてはまる番号に○をつけてください。なお、20歳未満の方及び障害などのためにご自分で記入できない方については、保護者(介護者)等が協力して回答してください。また、ご自分ではわからない質問には、ご家族と相談の上記入してください。

質問1 あなたは入院または、老人保健施設に入所中ですか。
1 はい 2 いいえ 補間1-1 入院・入所された時期はいつですか。
1 昭和 年 月 2 平成 年 月 質問終了です。

質問2 あなたは、この数日、病状やけが等で体の具合の悪いところ(自覚症状)がありますか。
1 ある 2 ない 補間2-1 次の質問3にお答えください。

補間2-1 それ以外のどのような症状ですか。次の中であてはまる症状名の番号に○をつけて、番号記入欄にもその番号を記入してください。なお、2つ以上の症状がある場合には、そのすべてに○をつけ、その中で最も気になる症状の番号を番号記入欄に記入してください。

番号 症状名 (水虫・湿疹など) 番号 症状名
14 熱がある 15 鼻汁が出る 16 のどが痛い 17 せきが止まらない 18 たんが止まらない 19 せきが出る
20 動悸 21 息切れ 22 胸膈部に痛みがある 23 吐き気・嘔吐
24 下痢 25 便秘 26 びくびくやけが 27 胃がたれ 28 食欲不振 29 腹痛
30 痔による痛み、出血など 31 葉巻 32 かゆみ (水虫・湿疹など) 33 虫が体に付く 34 虫が皮膚に刺さる 35 虫が皮膚を咬む 36 月経不順 37 月経不調・生理痛 38 おりもの量が多い 39 切り傷・やけどなどのけが 40 ねんざ・脱臼 41 肩こり 42 手足の関節が痛む 43 手足の関節が痛む 44 その他

補間2-2 それらの症状は、病院や診療所(医院・歯科医院)等で診てもらおうかどうかと思いませんか。思う症状の番号(上記補間2-1の番号)を記入してください。

1 思う 2 思わない

補間2-3 それらの症状に対して、なんらかの治療をしていますか。

1 病院に通っている(往診を含む) 2 診療所に通っている(往診を含む) 3 老人保健施設に通っている(往診を含む) 4 あんまりはりきりや、家庭療法(通院に通っていない) 5 薬をのんだり、つけたりしている 6 それ以外の治療をしている 7 治療していない

補間2-4 最も気になる症状に対して、なんらかの治療をしていますか。

1 病院に通っている(往診を含む) 2 診療所に通っている(往診を含む) 3 老人保健施設に通っている(往診を含む) 4 あんまりはりきりや、家庭療法(通院に通っていない) 5 薬をのんだり、つけたりしている 6 それ以外の治療をしている 7 治療していない

次の頁の質問にお答えください。

質問10 あなたは現在、日常生活で痛みやストレスなどがありますか。
1 ある 2 ない 質問11へ

補間10-1 それは、どのような原因ですか。次の中であてはまる項目名の番号に○をつけて、番号記入欄にもその番号を記入してください。なお、2つ以上の痛みやストレスなどがある場合は、そのすべてに○をつけ、その中で最も気になる項目の番号を番号記入欄に記入してください。

09 同居家族の健康・病状 17 仕事上のこと
01 家族以外の人間関係 18 自分の学業・受検・進学
02 家族以外の人間関係 19 収入・家計・借金
03 読書がいない 20 身近な人の死
04 生かみがない 21 住まいや生活環境(公害・騒音・交通事情を含む)
05 自由にできる時間がない 22 運動・通学(混雑・混雑・時間がかかる等)
06 将来・老後の収入 23 その他
07 自身の老後の介護 24 わからない
08 自身の健康・病状

最も気になる痛みやストレスなどの番号記入欄

ここからの質問は、20歳以上の方がお答えください。(20歳未満の方は質問終了です。)

質問11 あなたは過去1年間に、健康診断(定期健康診断や住民検診等)や人間ドックを受けたことがありますか。
1 ある 2 ない 質問12へ

補間11-1 それは、どのような理由で受けましたか。あてはまるすべての番号に○をつけてください。

1 市区町村又は保健所からの案内(広報、通知、受診券の配布等)を受けた
2 職場からの案内で受けた
3 学校からの案内で受けた
4 特に案内はなかったが、健康管理・疾病予防のため自発的に受けた
5 特に案内はなかったが、健康に気がかりなところがあるため自発的に受けた
6 特に案内はなかったが、他の人に勧められたので受けた

質問12 あなたは日ごろ、次のような準備を実行していますか。あてはまるすべての番号に○をつけてください。

1 規則正しく朝・昼・夕の食事をとっている
2 バランスのとれた食事をとっている
3 うす味のものをおもっている
4 腹八分目にして
5 定期的に運動(スポーツ)をするか身体を動かしている
6 気分転換やレクリエーションのための時間をとっている
7 睡眠時間を十分に取っている
8 1-7については実行していない

ご協力ありがとうございました。

質問3 あなたは現在、病院や診療所等に通っていますか。(往診を含む。)あてはまるすべての番号に○をつけてください。

- 1 病院・診療所(医師)・老人保健施設に通っている(往診を除く)
- 2 歯科診療所(歯科医師)・病院の科に通っている
- 3 あんま・はり・きゅう・柔道整復師(施術所)に通っている
- 4 通っていない

補問3-1 往診を受けていますか。

- 1 受けている
- 2 受けていない

補問3-2 ここへは、どのような病名(症状やけが)として通っていますか。次の中であてはまる病名(症状)の番号に○をつけて、番号記入欄にもその番号を記入してください。

なお、2つ以上の病名がある場合は、そのすべてに○をつけ、その中で最も数になる病名の番号を番号記入欄に記入してください。

01 高血圧症	19 精神科(うつ病、気分障害)	32 骨折
02 虚血性心臓病	20 神経症(ノイローゼ)	33 骨折以外のけが、やけど
03 脳卒中(虚血性脳卒中、脳出血、くも膜下出血等)	21 自律神経失調症	34 糖尿病
04 狭心症・心筋梗塞	22 うつ病	35 甲状腺の病気
05 その他の循環器系の病気	23 痛風	36 痛風
06 急性上気道炎(はげ)	24 目の病気	37 糖尿病・腎臓病
07 気管支炎及び肺炎	25 アレルギー性鼻炎	38 慢性関節リウマチ・関節炎
08 喘息・小児喘息	26 その他の鼻の病気	39 神経痛
09 その他の呼吸器系の病気	27 皮膚の病気	40 骨粗しょう症
10 急性腸炎及び下痢症	28 皮膚の病気のほか	41 貧血、血液の病気
11 胃炎	29 痔瘻	42 悪性新生物(がん)
12 胃・十二指腸炎	30 胆石症、胆のう炎	43 妊婦・産後
13 胃炎・胃酸過多	31 その他の消化器系の病気	44 婦人科の病気
14 胆石症・胆のう炎	32 ムネン	45 その他
15 その他の消化器系の病気	33 痔瘻	46 不明
16 ムネン	34 痔瘻	
17 痔瘻	35 痔瘻	
18 その他の痔の病気	36 痔瘻	

補問3-3 現在、通っている病院や診療所等はそれぞれ何か所ありますか。住診の場合は、その医師のいるところをお答えください。

1 総合病院(内科・外科)	3 大学(付属)病院	5 その他の病院	7 あんま・はり・きゅう・柔道整復師(施術所)
2 総合病院(内科・外科)以外の診療所	4 総合病院(内科・外科)以外の診療所	6 老人保健施設	8 老人保健施設
3 総合病院(内科・外科)以外の診療所	4 総合病院(内科・外科)以外の診療所	5 その他の病院	6 老人保健施設
4 総合病院(内科・外科)以外の診療所	5 その他の病院	6 老人保健施設	7 あんま・はり・きゅう・柔道整復師(施術所)
5 その他の病院	6 老人保健施設	7 あんま・はり・きゅう・柔道整復師(施術所)	8 老人保健施設

補問3-4 最も数になる病名で、現在、通っている病院や診療所等はそれぞれ何か所ありますか。住診の場合は、その医師のいるところをお答えください。

1 総合病院(内科・外科)	3 大学(付属)病院	5 その他の病院	7 あんま・はり・きゅう・柔道整復師(施術所)
2 総合病院(内科・外科)以外の診療所	4 総合病院(内科・外科)以外の診療所	6 老人保健施設	8 老人保健施設
3 総合病院(内科・外科)以外の診療所	4 総合病院(内科・外科)以外の診療所	5 その他の病院	6 老人保健施設
4 総合病院(内科・外科)以外の診療所	5 その他の病院	6 老人保健施設	7 あんま・はり・きゅう・柔道整復師(施術所)
5 その他の病院	6 老人保健施設	7 あんま・はり・きゅう・柔道整復師(施術所)	8 老人保健施設

補問3-5 最も数になる病名で、病院又は診療所等に通い始めたのはいつ頃からですか。(他の病院又は診療所等への通院通所を含みます。)あてはまる番号に○をつけて年・月・日を記入してください。

1 昭和 年 月 日

2 平成 年 月 日

質問4 あなたは、平成7年5月5日中に入院又は、老人保健施設に入所していたことがありますか。

- 1 はい
- 2 いいえ

補問4-1 平成7年5月5日中に、おなだの入院・入所のために支払われた費用(病院に支払った費用、水曜のために支払った費用、入院に際して買った物品など。)はいくらですか。

万円 千円

質問5 あなたは、かかりつけの診療所(医師)や病院を決めていますか。

- 1 決めている
- 2 決めていない

補問5-1 それはどのようなところですか。あてはまる主な番号1つに○をつけてください。

1 診療所(医師)	4 総合病院や大きな病院
2 職場(学校)の中にある診療所	5 その他の病院
3 大学(付属)病院	

補問5-2 あなだは、過去1年間に診療所(医師)又は病院で受診しましたか。

- 1 1か所以上の診療所(医師)又は病院で受診した
- 2 1か所(1つ)以外の診療所(医師)又は病院で受診した
- 3 受診しなかった

質問6 あなたは、過去1年以上にわたって日常生活のほとんどを基にしている状態ですか。

- 1 はい
- 2 いいえ

ここからの質問については、6歳以上の方がお答えください。(6歳未満の方は質問終了です。)

質問7 あなたは現在、健康上の問題で日常生活に何か影響がありますか。

- 1 ある
- 2 ない

補問7-1 あてはまるすべての番号に○をつけてください。

- | |
|----------------------------|
| 1 日常生活動作(起床、衣服着脱、食事、入浴など) |
| 2 外出(時間や距離などが制限される) |
| 3 仕事、家事、学業(時間や作業量などが制限される) |
| 4 運動、スポーツなど |
| 5 その他 |

質問8 ここ1月間に、健康上の問題で1日中休んでいた日数はどのくらいありましたか。

- 1 ない
- 2 1-3日
- 3 4-6日
- 4 7-14日
- 5 15日以上

質問9 あなたの現在の健康状態はいかがですか。

- 1 よい
- 2 まあよい
- 3 ふつう
- 4 あまりよくない
- 5 よくない

次の頁の質問は、12歳以上の方がお答えください。(12歳未満の方は質問終了です。)



指定統計第116号

厚 生 省
厚 生 省 調 査 票

平成7年3月3日 登録

地区番号 市区町村番号 世帯番号 世帯区分 1 2 3

(平成7年7月13日調査)

国民生活基礎調査【所得票】

厚生省

(1) 平成6年1月1日から12月31日までに
所得のあった世帯人数

人

福祉事務所名

調査員氏名

所得の種類	1 男		2 女		1 男		2 女		1 男		2 女	
	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2
(2) 性	1 男 明治 大正 昭和 平成	2 女 明治 大正 昭和 平成	1 男 明治 大正 昭和 平成	2 女 明治 大正 昭和 平成	1 男 明治 大正 昭和 平成	2 女 明治 大正 昭和 平成	1 男 明治 大正 昭和 平成	2 女 明治 大正 昭和 平成	1 男 明治 大正 昭和 平成	2 女 明治 大正 昭和 平成	1 男 明治 大正 昭和 平成	2 女 明治 大正 昭和 平成
(3) 出生年月	1 年 2 月	1 年 2 月	1 年 2 月	1 年 2 月	1 年 2 月	1 年 2 月	1 年 2 月	1 年 2 月	1 年 2 月	1 年 2 月	1 年 2 月	1 年 2 月
(4) 雇用者所得	1 万円	1 万円	1 万円	1 万円	1 万円	1 万円	1 万円	1 万円	1 万円	1 万円	1 万円	1 万円
(5) 事業所得	2 万円	2 万円	2 万円	2 万円	2 万円	2 万円	2 万円	2 万円	2 万円	2 万円	2 万円	2 万円
(6) 雑耕・畜産所得	3 万円	3 万円	3 万円	3 万円	3 万円	3 万円	3 万円	3 万円	3 万円	3 万円	3 万円	3 万円
(7) 家内労働所得	4 万円	4 万円	4 万円	4 万円	4 万円	4 万円	4 万円	4 万円	4 万円	4 万円	4 万円	4 万円
(8) 公的年金・恩給	5 万円	5 万円	5 万円	5 万円	5 万円	5 万円	5 万円	5 万円	5 万円	5 万円	5 万円	5 万円
(9) 家賃・地代の所得	6 万円	6 万円	6 万円	6 万円	6 万円	6 万円	6 万円	6 万円	6 万円	6 万円	6 万円	6 万円
(10) 利子・配当金 (源泉分離課税分を含む。)	7 万円	7 万円	7 万円	7 万円	7 万円	7 万円	7 万円	7 万円	7 万円	7 万円	7 万円	7 万円
(11) 公的年金・恩給以外の 社会保険給付金	8 万円	8 万円	8 万円	8 万円	8 万円	8 万円	8 万円	8 万円	8 万円	8 万円	8 万円	8 万円
(12) 仕送り	9 万円	9 万円	9 万円	9 万円	9 万円	9 万円	9 万円	9 万円	9 万円	9 万円	9 万円	9 万円
(13) その他の所得	10 万円	10 万円	10 万円	10 万円	10 万円	10 万円	10 万円	10 万円	10 万円	10 万円	10 万円	10 万円
(14) 所得税	1 課税あり 2 課税なし	1 課税あり 2 課税なし	1 課税あり 2 課税なし	1 課税あり 2 課税なし	1 課税あり 2 課税なし	1 課税あり 2 課税なし	1 課税あり 2 課税なし	1 課税あり 2 課税なし	1 課税あり 2 課税なし	1 課税あり 2 課税なし	1 課税あり 2 課税なし	1 課税あり 2 課税なし
(15) 住民税	1 所得割 2 均等割のみ 3 課税なし	1 所得割 2 均等割のみ 3 課税なし	1 所得割 2 均等割のみ 3 課税なし	1 所得割 2 均等割のみ 3 課税なし	1 所得割 2 均等割のみ 3 課税なし	1 所得割 2 均等割のみ 3 課税なし	1 所得割 2 均等割のみ 3 課税なし	1 所得割 2 均等割のみ 3 課税なし	1 所得割 2 均等割のみ 3 課税なし	1 所得割 2 均等割のみ 3 課税なし	1 所得割 2 均等割のみ 3 課税なし	1 所得割 2 均等割のみ 3 課税なし
(16) 社会保険料	1 支払あり 2 支払なし	1 支払あり 2 支払なし	1 支払あり 2 支払なし	1 支払あり 2 支払なし	1 支払あり 2 支払なし	1 支払あり 2 支払なし	1 支払あり 2 支払なし	1 支払あり 2 支払なし	1 支払あり 2 支払なし	1 支払あり 2 支払なし	1 支払あり 2 支払なし	1 支払あり 2 支払なし
(17) 固定資産税 (事業関係分を除く。)	1 課税あり 2 課税なし	1 課税あり 2 課税なし	1 課税あり 2 課税なし	1 課税あり 2 課税なし	1 課税あり 2 課税なし	1 課税あり 2 課税なし	1 課税あり 2 課税なし	1 課税あり 2 課税なし	1 課税あり 2 課税なし	1 課税あり 2 課税なし	1 課税あり 2 課税なし	1 課税あり 2 課税なし

(平成6年12月31日現在で18歳未満の児童のいる世帯のみ記入してください。)

(18) 生活意識の状況
(現在の暮らしの状況を総合的にみてどう感じていますか。)

1 大変苦しい
2 やや苦しい
3 普通
4 ややゆとりがある
5 大変ゆとりがある

(19) 世帯主の税法上の扶養親族数
(控除対象配偶者を含む。)

人

秘

指定統計第116号

厚 1-1-21-4
平成7年2月3日登録

国民生活基礎調査【貯蓄票】

(平成7年7月13日調査)

調査員が記入

地区番号				単位区番号		世帯番号		
------	--	--	--	-------	--	------	--	--

質問1 あなたの世帯の貯蓄現在高はどのくらいですか(平成7年6月末日現在)。

預貯金・保険及び個人年金(加入してから平成7年6月までの払込総額を記入)・有価証券(株式・株式投資信託・公社債投資信託は、平成7年6月末日現在の時価で見積り、債券・貸付信託・金銭信託は額面で記入)等の合計金額について、あてはまる番号に○をつけてください。

1 なし	7 400万円以上500万円未満
2 50万円未満	8 500万円以上700万円未満
3 50万円以上100万円未満	9 700万円以上1,000万円未満
4 100万円以上200万円未満	10 1,000万円以上1,500万円未満
5 200万円以上300万円未満	11 1,500万円以上3,000万円未満
6 300万円以上400万円未満	12 3,000万円以上

質問2 あなたの世帯の貯蓄現在高は昨年(平成6年6月末日)と比べて変わりましたか。

あてはまる番号に○をつけてください。

増えた	1 100万円以上	3 変わらない	減った	4 100万円以上
	2 100万円未満			5 100万円未満

質問3 あなたの世帯の借入金残高はどのくらいですか(平成7年6月末日現在)。

土地・家屋の購入、耐久消費財の購入、教育資金等の生活のために必要な資金の借入金の合計金額について、あてはまる番号に○をつけてください。

1 なし	6 300万円以上400万円未満
2 50万円未満	7 400万円以上500万円未満
3 50万円以上100万円未満	8 500万円以上1,000万円未満
4 100万円以上200万円未満	9 1,000万円以上2,000万円未満
5 200万円以上300万円未満	10 2,000万円以上

調査の概要

1 調査の目的

この調査は、保健、医療、福祉、年金、所得等国民生活の基礎的事項を調査し、厚生労働行政の企画及び運営に必要な基礎資料を得ることを目的とするものであり、昭和61年を初年として3年ごとに大規模な調査を実施し、中間の各年は簡易な調査を実施することとしている。

平成25年は、第10回目の大規模調査を実施した。

2 調査の対象及び客体

全国の世帯及び世帯員を対象とし、世帯票及び健康票については、平成22年国勢調査区のうち後置番号1及び8から層化無作為抽出した5,530地区内のすべての世帯（約30万世帯）及び世帯員（約74万人）を、介護票については、前記の5,530地区内から層化無作為抽出した2,500地区内の介護保険法の要介護者及び要支援者（約7千人）を、所得票・貯蓄票については、前記の5,530地区に設定された単位区のうち後置番号1から層化無作為抽出した2,000単位区内のすべての世帯（約4万世帯）及び世帯員（約9万人）を調査客体とした。

ただし、以下については調査の対象から除外した。

①世帯票・健康票・介護票

次に掲げる、世帯に不在の者

単身赴任者、出稼ぎ者、長期出張者（おおむね3か月以上）、遊学中の者、社会福祉施設の入所者、長期入院者（住民登録を病院に移している者）、預けた里子、収監中の者、その他の別居中の者

②所得票・貯蓄票

上記「世帯票」で掲げる不在の者、世帯票調査日以降に転出入した世帯及び世帯員、住み込み又はまかない付きの寮・寄宿舎に居住する単独世帯

注：1 「後置番号」とは、国勢調査区の種類を表す番号であり、「1」は一般調査区、「8」はおおむね50人以上の単身者が居住している寄宿舎・寮等のある区域をいう。

2 「単位区」とは、推計精度の向上、調査員の負担平準化等を図るため、一つの国勢調査区を地理的に分割したものである。

3 調査の実施日

世帯票・健康票・介護票 …… 平成25年6月6日（木）

所得票・貯蓄票 …… 平成25年7月11日（木）

4 調査の事項

世帯票 …… 単独世帯の状況、5月中の家計支出総額、世帯主との続柄、性、出生年月、配偶者の有無、医療保険の加入状況、公的年金・恩給の受給状況、公的年金の加入状況、就業状況等

健康票 …… 自覚症状、通院、日常生活への影響、健康意識、悩みやストレスの状況、こころの状態、健康診断等の受診状況等

介護票 …… 介護が必要な者の性別と出生年月、要介護度の状況、介護が必要となった原因、介護サービスの利用状況、主に介護する者の介護時間、家族等と事業者による主な介護内容等

所得票 …… 前年1年間の所得の種類別金額・課税等の状況、生活意識の状況等

貯蓄票 …… 貯蓄現在高、借入金残高等

5 調査の方法

あらかじめ調査員が配布した調査票に世帯員が自ら記入し、後日、調査員が回収する方法により行った。ただし、貯蓄票については、密封回収する方法により行い、健康票・所得票については、やむを得ない場合のみ密封回収を行った。

6 調査の系統

①世帯票・健康票・介護票

厚生労働省 —— 都道府県 —— 保健所 —— 指導員 —— 調査員 —— 世帯

└── 保健所設置市 ──┘
 └── 特別区 ──┘

②所得票・貯蓄票

厚生労働省 —— 都道府県 —— 福祉事務所 —— 指導員 —— 調査員 —— 世帯

└── 市・特別区及び福祉 ──┘
 事務所を設置する町村

7 結果の集計及び集計客体

結果の集計は、厚生労働省大臣官房統計情報部において行った。

なお、調査客体数、回収客体数及び集計客体数は次のとおりであった。

	調査客体数	回収客体数	集計客体数 (集計不能のものを除いた数)
世帯票・健康票	295 367世帯	235 012世帯	234 383世帯
所得票・貯蓄票	36 419世帯	27 081世帯	26 387世帯
介護票	7 270人	6 463人	6 342人

※ 国民生活基礎調査は、統計法に基づく基幹統計「国民生活基礎統計」を作成するための統計調査である。



国民生活基礎調査【世帯票】

(平成25年 6月 6日調査)



調査員記入欄

地区番号				単 位 区 番 号			世帯番号	
------	--	--	--	-----------	--	--	------	--

この調査は、統計法に基づき国が実施する基幹統計調査です。
調査票情報の秘密の保護に万全を期していますので、ありのままを記入してください。

＜記入上の注意＞

- ・ 「(世帯票・健康票) 記入のしかた」をよくお読みになってから記入してください。
- ・ もし記入方法がわからなかった場合は、調査員が受け取りにうかがったときにおたずねください。
- ・ 選択肢は指示がない場合は、あてはまる番号1つに○をつけてください。
- ・ 数字は右づめで記入してください。
- ・ できるだけ黒のボールペンで記入してください。

あなたの世帯について、平成25年6月6日現在の状況をお答えください。

- ・ 世帯とは、ふだん住居と生計を共にしている人々（世帯員）の集まりをいいます。
 - ・ 世帯員には、旅行や出張などで一時的（3か月以内）に自宅を離れている人や船員など就業場所を移動する人も含まれます。
- また、病院に入院している人も含まれますが、住民登録を病院に移している人は除きます。さらに、単身赴任や学業で世帯を離れている人、老人福祉施設などの社会福祉施設に入所している人も除きます。

I 世帯の状況

質問1 ふだん一緒にお住まいで、生計を共にしている方（世帯員）は、あなたを含めて何人ですか。（一時的に不在の方を含みます。）

								人
--	--	--	--	--	--	--	--	---

1人（単独世帯）の場合は、補問1-1にもお答えください。

補問1-1 1人（単独世帯）の方の場合は、その状況についてお答えください。

【単独世帯の状況】

- 1 住み込み、寄宿舎等に居住する単独世帯
- 2 その他の単独世帯

【単身赴任が否か】

- 1 単身赴任者である
- 2 単身赴任者でない

質問2 現在は、単身赴任などで世帯を離れているが、その前は、一緒にお住まいで生計を共にしていた方がいる場合は、あてはまるすべての番号に○をつけ、それぞれの人数を記入してください（いない場合は、6に○をつけてください）。

1 単身赴任で世帯を離れている者がいる	→	<input type="text"/>	人
2 学業のため世帯を離れている者がいる	→	<input type="text"/>	人
3 老人福祉施設に入所している者がいる	→	<input type="text"/>	人
4 社会福祉施設（老人福祉施設を除く。）に入所している者がいる	→	<input type="text"/>	人
5 病院に長期入院している（住民登録を病院に移している。）者がいる	→	<input type="text"/>	人
6 1～5の者はいない			

※ 1～5に該当する方は、この調査の世帯員とはなりませんので、質問1の人数には含めないでください。

裏面に続きます。

質問3 お住まいの住居の種類と建て方についてお答えください。

【住居の種類】 1 持ち家 2 民間賃貸住宅 3 社宅・公務員住宅等の給与住宅 4 都市再生機構・公社等の公営賃貸住宅 5 借間・その他	→	【建て方】 1 一戸建て 2 共同住宅 (マンション、アパート等)
--	---	---

質問4 お住まいの住居の室数について、居住用の部屋数（玄関や風呂等を含めないでください。）を記入してください。

また、床面積は、玄関や廊下等も含めた住宅全体のおおよその床面積を記入してください。

【室数】 □ □ 室	【床面積】 □ □ □ □ □ □ . □ m ²	※ 床面積の換算 1 坪 = 3.3 m ² 2 畳 = 3.3 m ²
----------------------	--	--

質問5 5月中の家計支出総額（世帯の方全員の支出金額の合計額）を記入してください。

□ □ □ □ 万円

※ 以下の費用は家計支出には含めないでください。

税金、社会保険料、事業上の支払い(農家における肥料や農具、商店における商品の仕入れに使った金等)、貯蓄、借金や住宅ローンなどの返済、掛け捨て型以外の生命保険料・損害保険料

補問5-1 小学校入学前の方がいる場合は、5月中の家計支出総額のうち、育児にかかった費用を記入してください。

□ □ 万 □ □ 千円

※ 育児にかかった費用とは、ミルク代、離乳食代、医療費、保育料、習い事の費用、衣服費、おもちゃ代、その他育児にかかった費用のすべてが入ります。

補問5-2 5月中の家計支出総額のうち、別居している親又は子への仕送りの状況をお答えください。仕送りの目的については、あてはまるすべての番号に○をつけてください。

【仕送りの状況】 別居している親がいる └──┐ └──┐ 1 仕送りあり 2 仕送りなし 3 別居している親はいない	→	【仕送りの目的】 1 入所・入院費 2 その他	【仕送り額】 □ □ □ □ 万円
--	---	--------------------------------------	-----------------------------

【仕送りの状況】 別居している子がいる └──┐ └──┐ 1 仕送りあり 2 仕送りなし 3 別居している子はいない	→	【仕送りの目的】 1 学業 2 その他	【仕送り額】 □ □ □ □ 万円
--	---	----------------------------------	-----------------------------

引き続き「Ⅱ 世帯員の状況」についてもお答えください。

II 世帯員の状況

- すべての世帯員の方について、ひとり一列で記入してください。
世帯員の記入順序は、夫婦・親子の関係がある方を順に並べて記入してください。
選択肢は指示がない場合は、あてはまる番号1つに○をつけ、数字は右つめて記入してください。

地区番号 単位区番号 世帯番号

Table with 4 columns (01, 02, 03) and 7 rows (質問1-7) covering household head, relationships, sex, birth date, spouse status, insurance, and public benefits.

Table with 4 columns and 1 row (質問8) covering childcare status for infants and young children.

Table with 4 columns and 1 row (質問9) covering the need for assistance or supervision.

Table with 4 columns and 3 rows (補問9-1 to 9-3) covering independence of daily life, period of independence, and need for care certification.

Table with 4 columns and 3 rows (補問9-4 to 9-6) covering cohabitation status, caregiver details, and sex of caregiver.

裏面に続きます。(15歳未満の方は質問終了です。)

表面の世帯員番号と同じ列に記入してください。

(世帯員番号)	01	02	03
質問10 教育 現在、学校に在学しているかどうかお答えください。 「在学中」の方はその学校について、「卒業」の方は最終卒業学校(中途退学をした方はその前の学校)についてお答えください。 予備校などはここでいう学校には含まれません。	1 在学中 2 卒業 3 在学したことがない	1 在学中 2 卒業 3 在学したことがない	1 在学中 2 卒業 3 在学したことがない
質問11 公的年金の加入状況 加入している 20歳未満で仕事をしていたり、すでに老齢年金又は退職年金を受給している方、受給資格があるが受給待ちの方などが該当します。	公的年金に加入している 1 国民年金第1号被保険者(自営業者や学生等) 2 国民年金第2号被保険者(厚生年金・共済年金の加入者) 3 国民年金第3号被保険者(第2号被保険者の配偶者) 4 公的年金に加入していない	公的年金に加入している 1 国民年金第1号被保険者(自営業者や学生等) 2 国民年金第2号被保険者(厚生年金・共済年金の加入者) 3 国民年金第3号被保険者(第2号被保険者の配偶者) 4 公的年金に加入していない	公的年金に加入している 1 国民年金第1号被保険者(自営業者や学生等) 2 国民年金第2号被保険者(厚生年金・共済年金の加入者) 3 国民年金第3号被保険者(第2号被保険者の配偶者) 4 公的年金に加入していない
質問12 別居している子の有無 別居している子の有無について、お答えください。	別居している子 1 いる 2 いない → (質問13へ)	別居している子 1 いる 2 いない → (質問13へ)	別居している子 1 いる 2 いない → (質問13へ)
補問12-1 最も近くに住んでいる別居の子の居住場所	1 同一家庭 2 同一敷地 3 近隣地域 4 同一市区町村 5 その他の地域	1 同一家庭 2 同一敷地 3 近隣地域 4 同一市区町村 5 その他の地域	1 同一家庭 2 同一敷地 3 近隣地域 4 同一市区町村 5 その他の地域
質問13 5月中の仕事の状況 収入を伴う仕事を少しでもした方は「仕事あり」、まったく仕事をしなかった方は「仕事なし」の中からお答えください。 無給で自家営業の手伝いをした場合や、育児休業や介護休業のため、一時的に仕事を休んでいる場合も「仕事あり」とします。 PTA役員やボランティアなど無報酬の活動は「仕事なし」とします。 なお、家事には、育児、介護などを含まず。	仕事あり 仕事なし 1 主に仕事をしている 2 主に家事で仕事あり 3 主に通学で仕事あり 4 その他 5 通学 6 家事 7 その他	仕事あり 仕事なし 1 主に仕事をしている 2 主に家事で仕事あり 3 主に通学で仕事あり 4 その他 5 通学 6 家事 7 その他	仕事あり 仕事なし 1 主に仕事をしている 2 主に家事で仕事あり 3 主に通学で仕事あり 4 その他 5 通学 6 家事 7 その他

質問14 1週間の就業日数等 5月20日(月)~26日(日)の1週間に実際に仕事をした日数と時間をお答えください。 なお、複数の仕事をした場合、すべての合計をお答えください。	[就業日数] 1週間の仕事をした日数 <input type="text"/> 日 [就業時間] 1週間の就業も含めた総時間 <input type="text"/> 時間	[就業日数] 1週間の仕事をした日数 <input type="text"/> 日 [就業時間] 1週間の就業も含めた総時間 <input type="text"/> 時間	[就業日数] 1週間の仕事をした日数 <input type="text"/> 日 [就業時間] 1週間の就業も含めた総時間 <input type="text"/> 時間
--	---	---	---

質問15 就業開始時期 主な仕事について、その仕事についてした時期をお答えください。	1 大正 <input type="text"/> 年 <input type="text"/> 月 2 昭和 <input type="text"/> 年 <input type="text"/> 月 3 平成 <input type="text"/> 年 <input type="text"/> 月	1 大正 <input type="text"/> 年 <input type="text"/> 月 2 昭和 <input type="text"/> 年 <input type="text"/> 月 3 平成 <input type="text"/> 年 <input type="text"/> 月	1 大正 <input type="text"/> 年 <input type="text"/> 月 2 昭和 <input type="text"/> 年 <input type="text"/> 月 3 平成 <input type="text"/> 年 <input type="text"/> 月
--	--	--	--

質問16 仕事の内容(職業分類) 主な仕事について、お答えください。	01 管理的職業従事者 07 農林漁業従事者 02 専門的・技術的職業従事者 08 生産工程従事者 03 事務従事者 09 輸送・機械運転従事者 04 販売従事者 10 建設・探採従事者 05 サービス職業従事者 11 運搬・清掃・包装等従事者 06 保安職業従事者 12 分類不能の職業	01 管理的職業従事者 07 農林漁業従事者 02 専門的・技術的職業従事者 08 生産工程従事者 03 事務従事者 09 輸送・機械運転従事者 04 販売従事者 10 建設・探採従事者 05 サービス職業従事者 11 運搬・清掃・包装等従事者 06 保安職業従事者 12 分類不能の職業	01 管理的職業従事者 07 農林漁業従事者 02 専門的・技術的職業従事者 08 生産工程従事者 03 事務従事者 09 輸送・機械運転従事者 04 販売従事者 10 建設・探採従事者 05 サービス職業従事者 11 運搬・清掃・包装等従事者 06 保安職業従事者 12 分類不能の職業
--	---	---	---

質問17 勤めか自営かの別 主な仕事について、お答えください。 01、02、03、04と答えた方は、補問17-1、17-2をお答えください。	01 一般常雇者(契約期間の定めのない雇用者) 02 一般常雇者(契約期間が1年以上の雇用者) 03 1年以上1年未満の契約の雇用者 04 日々又は1月未満の契約の雇用者 05 会社・団体等の役員 06 自営業主(雇人あり) 07 自営業主(雇人なし) 08 家族従業者(自家営業の手伝い) 09 内職 10 その他 (質問終了です。)	01 一般常雇者(契約期間の定めのない雇用者) 02 一般常雇者(契約期間が1年以上の雇用者) 03 1年以上1年未満の契約の雇用者 04 日々又は1月未満の契約の雇用者 05 会社・団体等の役員 06 自営業主(雇人あり) 07 自営業主(雇人なし) 08 家族従業者(自家営業の手伝い) 09 内職 10 その他 (質問終了です。)	01 一般常雇者(契約期間の定めのない雇用者) 02 一般常雇者(契約期間が1年以上の雇用者) 03 1年以上1年未満の契約の雇用者 04 日々又は1月未満の契約の雇用者 05 会社・団体等の役員 06 自営業主(雇人あり) 07 自営業主(雇人なし) 08 家族従業者(自家営業の手伝い) 09 内職 10 その他 (質問終了です。)
---	---	---	---

補問17-1 勤め先での呼称 「労働者派遣事業所の派遣社員」とは労働者派遣法に基づく事業所に雇用され、そこから派遣されている人をいいます。	1 正規の職員・従業員 2 パート 3 アルバイト 4 労働者派遣事業所の派遣社員 5 契約社員 6 嘱託 7 その他	1 正規の職員・従業員 2 パート 3 アルバイト 4 労働者派遣事業所の派遣社員 5 契約社員 6 嘱託 7 その他	1 正規の職員・従業員 2 パート 3 アルバイト 4 労働者派遣事業所の派遣社員 5 契約社員 6 嘱託 7 その他
---	---	---	---

補問17-2 企業規模・官公庁の別 本社・本店や出張所などを含めた企業全体の従業員数をお答えください。 「官公庁」とは、国の機関や地方自治体をいいます。	1 1~4人 2 5~29人 3 30~99人 4 100~299人 5 300~499人 6 500~999人 7 1000~4999人 8 5000人以上 9 官公庁	1 1~4人 2 5~29人 3 30~99人 4 100~299人 5 300~499人 6 500~999人 7 1000~4999人 8 5000人以上 9 官公庁	1 1~4人 2 5~29人 3 30~99人 4 100~299人 5 300~499人 6 500~999人 7 1000~4999人 8 5000人以上 9 官公庁
---	--	--	--

質問18 就業希望の有無 就業希望の有無について、お答えください。	1 したいと思っている 2 したいと思っていない (質問終了です。)	1 したいと思っている 2 したいと思っていない (質問終了です。)	1 したいと思っている 2 したいと思っていない (質問終了です。)
---	---------------------------------------	---------------------------------------	---------------------------------------

補問18-1 どのような形で仕事をしたいと思いませんか 最もしたいと思う仕事の形の番号1つに○をつけてください。現在仕事を探していない方も、仕事につくとしたらどのような形で仕事をしたいかをお答えください。	1 正規の職員・従業員 2 パート・アルバイト 3 労働者派遣事業所の派遣社員 4 契約社員・嘱託 5 自営 6 その他	1 正規の職員・従業員 2 パート・アルバイト 3 労働者派遣事業所の派遣社員 4 契約社員・嘱託 5 自営 6 その他	1 正規の職員・従業員 2 パート・アルバイト 3 労働者派遣事業所の派遣社員 4 契約社員・嘱託 5 自営 6 その他
--	---	---	---

補問18-2 すぐにでも仕事につけますか	1 つける 2 つかない	1 つける 2 つかない	1 つける 2 つかない
補問18-3 仕事を探していますか 現在採用結果を待っている方も「探している」に○をつけてください。	1 探している 2 探していない	1 探している 2 探していない	1 探している 2 探していない
補問18-4 仕事につけない理由	1 出産・育児のため 2 介護・看護のため 3 健康に自信がない 4 その他	1 出産・育児のため 2 介護・看護のため 3 健康に自信がない 4 その他	1 出産・育児のため 2 介護・看護のため 3 健康に自信がない 4 その他

ご記入ありがとうございました。

国民生活基礎調査【健康票】

(平成25年6月6日調査)

この調査は、統計法に基づき国が実施する基幹統計調査です。
調査票情報の秘密の保護に万全を期していますので、ありのままを記入してください。

＜記入上の注意＞

- ・この調査票は、世帯の方全員が**1人1冊**ずつ、記入してください。
- ・『(世帯票・健康票)記入のしかた』をよくお読みになってから記入してください。
- ・もし記入方法がわからなかった場合は、調査員が受け取りにうかがったときにおたずねください。
- ・選択肢はあてはまる番号1つ、又はあてはまるすべての番号に○をつけてください。
- ・数字は右づめで記入してください。
- ・ご自分で記入できない方については、ご家族の方、又は介護をしている方が記入を手伝ってください。
- ・できるだけ黒のボールペンで記入してください。

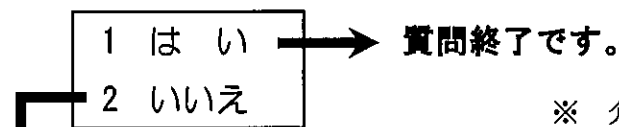
質問1 あなたの性・出生年月を記入してください。性・元号は、**あてはまる番号1つ**に○をつけ、出生年月には数字を**右づめ**で記入してください。

性	出生年月			
1 男	1 明治	3 昭和	<input type="text"/>	年 <input type="text"/> 月
2 女	2 大正	4 平成	<input type="text"/>	年 <input type="text"/> 月

調査員記入欄

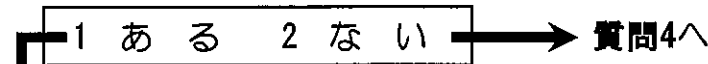
地区番号	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	単位区番号	<input type="text"/>	世帯番号	<input type="text"/>
------	----------------------	----------------------	----------------------	-------	----------------------	------	----------------------

質問2 あなたは**現在**、病院や診療所に入院中、又は、介護保険施設に入所中ですか。



※ 介護保険施設とは、介護療養型医療施設、
 介護老人保健施設及び介護老人福祉施設をいいます。

質問3 あなたは**ここ数日**、病気やけがなどで体の具合の悪いところ（自覚症状）がありますか。



補問3-1 それは、どのような症状ですか。あてはまる**すべての**症状名の番号に○をつけてください。その中で**最も気になる**症状名の番号を番号記入欄に記入してください。

全身症状	01 熱がある	呼吸器系	15 せきやたんが出る	筋骨格系	29 肩こり	
	02 体がだるい		16 鼻がつまる・ 鼻汁が出る		30 腰痛	
	03 眠れない		17 ゼイゼイする		31 手足の関節が痛む	
	04 いらいらしやすい		18 胃のもたれ・ むねやけ		手足	32 手足の動きが悪い
	05 ものを忘れする	19 下痢	33 手足のしびれ			
	06 頭痛	20 便秘	34 手足が冷える			
	眼	07 めまい	消化器系	21 食欲不振	尿路生殖器系	35 足のむくみやだるさ
		08 目のかすみ		22 腹痛・胃痛		36 尿が出にくい・ 排尿時痛い
		09 物を見づらい		23 痔による痛み・ 出血など		37 頻尿(尿の出る回数が多い)
	耳	10 耳なりがする		24 歯が痛い		損傷
		11 きこえにくい	25 歯ぐきのはれ・出血	39 月経不順・月経痛		
	胸部	12 動悸	歯	26 かみにくい	40 骨折・ねんざ・ 脱ぎゅう	
		13 息切れ		27 発疹(じんま疹・できもの など)		41 切り傷・やけどなどの けが
		14 前胸部に痛みが ある	皮膚	28 かゆみ(湿疹・水虫など)		

最も気になる症状の番号記入欄 → 番

補問3-2 最も気になる症状に対して、なんらかの治療をしていますか。
 あてはまる**すべての**番号に○をつけてください。

- 1 病院・診療所に通っている（往診、訪問診療を含む）
- 2 あんま・はり・きゅう・柔道整復師（施術所）にかかっている
- 3 売薬をのんだり、つけたりしている
- 4 それ以外の治療をしている
- 5 治療をしていない

質問4 あなたは**現在**、傷病（病気やけが）で病院や診療所（医院、歯科医院）、あんま・はり・きゅう・柔道整復師（施術所）に通っていますか。（往診、訪問診療、補問3-1の症状で通っているものを含む）

1 通っている 2 通っていない → **質問5へ**

補問4-1 どのような傷病（病気やけが）で通っていますか。あてはまるすべての傷病名の番号に○をつけてください。その中で最も気になる傷病名の番号を番号記入欄に記入してください。

内分泌・代謝障害	01 糖尿病	呼吸器系	15 急性鼻咽頭炎(かせ)	尿路生殖器等系	32 腎臓の病気
	02 肥満症		16 アレルギー性鼻炎		33 前立腺肥大症
	03 脂質異常症 (高コレステロール血症等)		17 慢性閉塞性肺疾患 (COPD)		34 閉経期又は閉経後障害 (更年期障害等)
	04 甲状腺の病気		18 喘息		損傷
精神・神経	05 うつ病やその他の こころの病気	19 その他の呼吸器系 の病気	36 骨折以外のけが・ やけど		
	06 認知症	消化器系	20 胃・十二指腸の病気	37 貧血・血液の病気	
	07 パーキンソン病		21 肝臓・胆のうの病気	38 悪性新生物(がん)	
08 その他の神経の病気 (神経痛・麻痺等)	22 その他の消化器系 の病気		39 妊娠・産褥 (切迫流産、前置胎盤等)		
循環器系	09 眼の病気	23 歯の病気	皮膚	40 不妊症	
	10 耳の病気	24 アトピー性皮膚炎		41 その他	
	11 高血圧症			25 その他の皮膚の病気	42 不明
	12 脳卒中(脳出血、脳梗塞等)	筋骨格系		26 痛風	
	13 狭心症・心筋梗塞			27 関節リウマチ	
	14 その他の循環器系の 病気			28 関節症	
				29 肩こり症	
30 腰痛症					
31 骨粗しょう症					

最も気になる傷病の番号記入欄 → 番

6歳未満の方は質問終了です。6歳以上の方は続けてお答えください。

質問5 あなたは**現在**、健康上の問題で日常生活に何か影響がありますか。

1 ある 2 ない → **質問6へ**

補問5-1 それはどのようなことに影響がありますか。あてはまるすべての番号に○をつけてください。

- | | |
|----------------------------|---------------|
| 1 日常生活動作（起床、衣服着脱、食事、入浴など） | 4 運動（スポーツを含む） |
| 2 外出（時間や作業量などが制限される） | 5 その他 |
| 3 仕事、家事、学業（時間や作業量などが制限される） | |

質問6 過去1か月の間に、健康上の問題で床についたり、普段の活動ができなかった（仕事・学校を休んだ、家事ができなかった等）日数はどれくらいありましたか。日数を右づめで記入してください。

1 ない 2 ある → 合計 日

質問7 あなたの現在の健康状態はいかがですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1 よい 2 まあよい 3 ふつう 4 あまりよくない 5 よくない

12歳未満の方は質問終了です。12歳以上の方は続けてお答えください。

質問8 あなたは現在、日常生活で悩みやストレスがありますか。

1 ある 2 ない → 質問9へ

補問8-1 それは、どのような原因ですか。あてはまるすべての原因の番号に○をつけてください。その中で最も気になる原因の番号を番号記入欄に記入してください。

01 家族との人間関係	12 妊娠・出産
02 家族以外との人間関係	13 育児
03 恋愛・性に関すること	14 家事
04 結婚	15 自分の学業・受験・進学
05 離婚	16 子どもの教育
06 いじめ、セクシュアル・ハラスメント	17 自分の仕事
07 生きがいに関すること	18 家族の仕事
08 自由にできる時間がない	19 住まいや生活環境 (公害、安全及び交通事情を含む)
09 収入・家計・借金等	20 その他
10 自分の病気や介護	21 わからない
11 家族の病気や介護	

最も気になる悩みやストレスの番号記入欄 → 番

補問8-2 悩みやストレスを、どのように相談していますか。あてはまるすべての番号に○をつけてください。また、最も気になる悩みやストレスについてどのように相談していますか。あてはまる番号の主なものを2つまで番号記入欄に記入してください。

01 家族に相談している	06 病院・診療所の医師に相談している
02 友人・知人に相談している	07 テレビ、ラジオ、新聞等の相談コーナーを利用している
03 職場の上司、学校の先生に相談している	08 01～07以外で相談している (職場の相談窓口等)
04 公的な機関(保健所、福祉事務所、精神保健福祉センター等)の相談窓口(電話等での相談を含む)を利用している	09 相談したいが誰にも相談できないでいる
05 民間の相談機関(悩み相談所等)の相談窓口(電話等での相談を含む)を利用している	10 相談したいがどこに相談したらよいか わからない
	11 相談する必要はないので誰にも相談していない

最も気になる悩みやストレスの相談状況の番号記入欄 → 番

質問9 あなたの過去1か月の1日の平均睡眠時間はどのくらいでしたか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1 5時間未満	4 7時間以上8時間未満
2 5時間以上6時間未満	5 8時間以上9時間未満
3 6時間以上7時間未満	6 9時間以上

質問10 あなたは過去1か月、睡眠によって休養が充分にとれていますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1 充分とれている 2 まあまあとれている 3 あまりとれていない 4 まったくとれていない

質問11 次の(ア)から(カ)の質問について、過去1か月の間はどのようであったか、6つの項目それぞれのあてはまる番号1つに○をつけてください。

	いつも	たいてい	ときどき	少しだけ	まったくない
(ア) 神経過敏に感じましたか	1	2	3	4	5
(イ) 絶望的だと感じましたか	1	2	3	4	5
(ウ) そわそわ、落ち着かなく感じましたか	1	2	3	4	5
(エ) 気分が沈み込んで、何が起こっても気が晴れないように感じましたか	1	2	3	4	5
(オ) 何をするのも骨折りだと感じましたか	1	2	3	4	5
(カ) 自分は価値のない人間だと感じましたか	1	2	3	4	5

20歳未満の方は質問終了です。20歳以上の方は続けてお答えください。

質問12 あなたは週に何日くらいお酒(清酒、焼酎、ビール、洋酒など)を飲みますか。
あてはまる番号1つに○をつけてください。

1	毎日	6	ほとんど飲まない	→ 質問13へ
2	週5~6日	7	やめた	
3	週3~4日	8	飲まない(飲めない)	
4	週1~2日			
5	月1~3日			

補問12-1 お酒を飲む日は1日あたり、どのくらいの量を飲みますか。
清酒に換算し、あてはまる番号1つに○をつけてください。

1	1合(180ml)未満	4	3合以上4合(720ml)未満
2	1合以上2合(360ml)未満	5	4合以上5合(900ml)未満
3	2合以上3合(540ml)未満	6	5合(900ml)以上

※ 清酒1合(180ml)は、次の量にほぼ相当
ビール・発泡酒中瓶1本(約500ml)、焼酎20度(135ml)、焼酎25度(110ml)、
焼酎35度(80ml)、チューハイ7度(350ml)、ウイスキーダブル1杯(60ml)、ワイン2杯(240ml)

質問13 あなたはたばこを吸いますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1	毎日吸っている	→ 1日に平均して 何本くらい吸い ますか。	1	10本以下
2	時々吸う日がある		2	11~20本
3	以前は吸っていたが1か月以上 吸っていない		3	21~30本
4	吸わない		4	31本以上

質問14 あなたは日ごろ、健康のために次のような事柄を実行していますか。
あてはまるすべての番号に○をつけてください。

1	規則正しく朝・昼・夕の食事をとっている
2	バランスのとれた食事をしている
3	うす味のものを食べている
4	食べ過ぎないようにしている
5	適度に運動(スポーツを含む)をするか身体を動かしている
6	睡眠を十分にとっている
7	たばこを吸わない
8	お酒を飲み過ぎないようにしている
9	ストレスをためないようにしている
10	その他
11	特に何もしていない

質問15 あなたは過去1年間に、健診等（健康診断、健康診査及び人間ドック）を受けたことがありますか。

注：次のようなものは健診等には含まれません。
 がんのみの検診、妊産婦検診、
 歯の健康診査、
 病院や診療所で行う診療としての検査

↓ **1 ない 2 ある** → **質問16へ**

補問15-1 それは、どのような理由で受けなかったのですか。あてはまるすべての番号に○をつけてください。

- | | |
|--------------------------|--------------------------|
| 01 知らなかったから | 08 健康状態に自信があり、必要性を感じないから |
| 02 時間がとれなかったから | 09 心配な時はいつでも医療機関を受診できるから |
| 03 場所が遠いから | 10 結果が不安なため、受けたくないから |
| 04 費用がかかるから | 11 めんどうだから |
| 05 検査等(採血、胃カメラ等)に不安があるから | 12 その他 |
| 06 その時、医療機関に入通院していたから | |
| 07 毎年受ける必要性を感じないから | |

※ 質問16、補問16-1のがん検診については、健診等（健康診断、健康診査及び人間ドック）の中で受診したものも含まれます。

質問16 あなたは過去1年間に、下記の下記の5つのがん検診を受けましたか。それぞれの検診についてお答えください。また、受診した検診ごとに、勤め先(家族の勤め先を含む)での受診状況をお答えください。

胃がん検診(バリウムによるX線撮影や内視鏡(胃カメラ、ファイバースコープ)による撮影など)	1 受けなかった 2 受けた	勤め先(家族の勤め先を含む)からのお知らせで受けましたか。 1 はい 2 いいえ
肺がん検診(胸のX線撮影や喀痰(かたん)検査など)	1 受けなかった 2 受けた	勤め先(家族の勤め先を含む)からのお知らせで受けましたか。 1 はい 2 いいえ
子宮がん(子宮頸がん)検診(子宮の細胞診検査など)	1 受けなかった 2 受けた	勤め先(家族の勤め先を含む)からのお知らせで受けましたか。 1 はい 2 いいえ
乳がん検診(マンモグラフィ撮影や乳房超音波(エコー)検査など)	1 受けなかった 2 受けた	勤め先(家族の勤め先を含む)からのお知らせで受けましたか。 1 はい 2 いいえ
大腸がん検診(便潜血反応検査(検便)など)	1 受けなかった 2 受けた	勤め先(家族の勤め先を含む)からのお知らせで受けましたか。 1 はい 2 いいえ

20歳以上の女性の方(質問16を回答いただいた方も含む)は続けてお答えください。

補問16-1 あなたは過去2年間に、下記のがん検診を受けましたか。あてはまるすべての番号に○をつけてください。

- | |
|-----------------------------------|
| 1 子宮がん(子宮頸がん)検診(子宮の細胞診検査など) |
| 2 乳がん検診(マンモグラフィ撮影や乳房超音波(エコー)検査など) |
| 3 1~2は受けていない |

ご記入ありがとうございました。

SAMPLE

国民生活基礎調査【所得票】

(平成25年7月11日調査)

この調査は、統計法に基づき国が実施する基幹統計調査です。
調査票情報の秘密の保護に万全を期していますので、ありのままを記入してください。

＜記入上の注意＞

- ・ この調査票は、昨年1年間（平成24年1月1日～12月31日）に何らかの所得や税金、社会保険料、企業年金・個人年金等の掛金の支出があった方が1人1冊ずつ、記入してください。
(所得には、アルバイトによる所得や仕送り、年金も含まれます。)
- ・ もし記入方法がわからなかった場合は、調査員が受け取りにうかがったときにおたずねください。
- ・ ご自分で記入できない方については、ご家族の方が回答してください。
- ・ できるだけ黒のボールペンで記入してください。
- ・ 7月11日以降に調査員があらためておうかがいたしますので、それまでに 枠の質問について記入してください。

所得や課税等の支出のあった方は、質問1から順に記入してください。

質問1

あなたの性・出生年月を記入してください。

性・元号はあてはまる番号1つに○をつけ、出生年月には数字を右づめで記入してください。

性		出生年月							
1	男	1	明治	3	昭和	<input type="text"/>	年	<input type="text"/>	月
2	女	2	大正	4	平成	<input type="text"/>	年	<input type="text"/>	月

※ 所得については2ページから、課税等の支出については6ページから記入してください。
15ページは、世帯主又は世帯を代表する方が記入してください。

調査員記入欄

地区番号	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	単位区番号	<input type="text"/>	<input type="text"/>	世帯番号	<input type="text"/>	<input type="text"/>
------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	-------	----------------------	----------------------	------	----------------------	----------------------

昨年1年間に何らかの所得を受け取った場合は、2及び4ページの所得の種類ごとに、1年分の所得金額を万円単位で記入してください。
所得のなかった方は、6ページへお進みください。

右ページの書類をお持ちの方は参考にしてください。

【金額記入の注意】

- 万円未満は四捨五入して、万円単位で右づめに記入してください。
(1~4,999円は「0万円」、5,000~14,999円は「1万円」)
- 生命保険の受取金、退職金、不動産や株の売却代金、宝くじの当せん金などの一時的なものは含みません。

質問 2

あなたは昨年1年間
(平成24年1月~12月)
に何らかの所得を受け取り
ましたか。

受け取った所得の種類ごとに
金額を記入してください。

雇用者所得

01

--	--	--	--	--	--

万円

億 千 百 十 一

事業所得

02

--	--	--	--	--	--

万円

億 千 百 十 一

農耕・畜産
所得

03

--	--	--	--	--	--

万円

億 千 百 十 一

家内労働
所得

04

--	--	--	--	--	--

万円

億 千 百 十 一

財産所得

05

--	--	--	--	--	--

万円

億 千 百 十 一

1年分の所得金額がわからないときは、1か月の収入の1.2倍にボーナス分を加えるなどして、1年分の金額を計算して記入してください。

働いて得た所得

勤め先から受け取った給料、賃金、賞与(ボーナス)を合わせた税込み金額を記入してください。アルバイト等による所得も含みます。

【参考書類】源泉徴収票 [原本又は写し]
給与明細書

事業(農耕・畜産以外)による収入から、仕入額、従業員に対する給与などの必要経費を差し引いた所得金額を記入してください。漁業・林業による所得を含みます。

【参考書類】確定申告書 [控]

農業や畜産業による収入(自家消費分を含む。)から、肥料代、農薬代、家畜・家さんの購入費、雇い人の賃金などの必要経費を差し引いた所得金額を記入してください。

【参考書類】確定申告書 [控]

注文主からの委託を受けて、品物の製造や加工等(校正業務やワープロ入力などを含む。)を行って得た所得から必要な経費を差し引いた所得金額を記入してください。

財産による所得

家屋や土地を貸すことによって得た所得や、預貯金、公社債、株式などから得られた利子、配当金(源泉分離課税分を含む。)の合計額を記入してください。家や土地の売却代金、引き出した預貯金、生命保険・損害保険からの受取金を除きます。

【参考書類】確定申告書 [控]
取引口座の通帳、配当金額収書など

給与所得者の方

⇒ 平成24年分 給与所得の源泉徴収票 [原本又は写し] を参考にしてください。

平成24年分 給与所得の源泉徴収票

支払を受ける者 住所又は居所	(受給者番号)				氏名	(フリガナ)																					
					名称	(敬称含)																					
種別	支払金額	給与所得控除後の金額	所得控除の額の合計額	課税徴収後額																							
<p>〔控除対象配偶者の有無等〕</p> <table border="1"> <tr> <th>控除対象配偶者の有無</th> <th>配偶者特別控除の額</th> <th>所得控除の特等</th> <th>本人控除の特等</th> <th>所得控除の特等</th> <th>所得控除の特等</th> <th>所得控除の特等</th> <th>所得控除の特等</th> </tr> <tr> <td>有</td> <td>なし</td> <td>なし</td> <td>なし</td> <td>なし</td> <td>なし</td> <td>なし</td> <td>なし</td> </tr> </table>								控除対象配偶者の有無	配偶者特別控除の額	所得控除の特等	本人控除の特等	所得控除の特等	所得控除の特等	所得控除の特等	所得控除の特等	有	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし				
控除対象配偶者の有無	配偶者特別控除の額	所得控除の特等	本人控除の特等	所得控除の特等	所得控除の特等	所得控除の特等	所得控除の特等																				
有	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし																				
<p>〔所得〕</p> <table border="1"> <tr> <th>給与所得</th> <th>雑所得</th> <th>退職所得</th> <th>利子所得</th> <th>配当所得</th> <th>不動産所得</th> <th>農業所得</th> <th>事業所得</th> <th>その他所得</th> <th>合計</th> </tr> <tr> <td>なし</td> <td>なし</td> <td>なし</td> <td>なし</td> <td>なし</td> <td>なし</td> <td>なし</td> <td>なし</td> <td>なし</td> <td>なし</td> </tr> </table>								給与所得	雑所得	退職所得	利子所得	配当所得	不動産所得	農業所得	事業所得	その他所得	合計	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし
給与所得	雑所得	退職所得	利子所得	配当所得	不動産所得	農業所得	事業所得	その他所得	合計																		
なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし																		

支払金額	
内	千円
	円

『雇用者所得』欄へ記入

315-1

確定申告を行った方

⇒ 平成24年分の所得税の確定申告書 [控] を参考にしてください。

平成 24 年分の所得税の 申告書B

※ この様式は、申告書B 第一表です。

所得	事業(営業等) ①	事業(農業) ②	不動産 ③	利子 ④	配当 ⑤
----	-----------	----------	-------	------	------

給	与	力	〇	〇	〇	〇	〇
---	---	---	---	---	---	---	---

『雇用者所得』欄へ記入
※ 申告書Aでは、給与力欄になります。

事業(営業等)	①			
事業(農業)	②			
不動産	③			
利子	④			
配当	⑤			

- 事業(営業等) ① ⇒ 『事業所得』欄へ記入
- 事業(農業) ② ⇒ 『農耕・畜産所得』欄へ記入
- 不動産 ③
- 利子 ④
- 配当 ⑤

⇒ 『財産所得』欄へ記入

※ 申告書Aでは、配当は③欄になります。

【注意】 源泉分離課税された「利子」「配当」のあった方は、源泉分離課税分を含めた「利子」等も『財産所得』欄に記入してください。

質問 2 (つづき)

公的年金・恩給

06

--	--	--	--

 万円
千 百 十 一

雇用保険

07

--	--	--	--

 万円
千 百 十 一

児童手当等

08

--	--	--	--

 万円
千 百 十 一

その他の
社会保障給付金

09

--	--	--	--

 万円
千 百 十 一

仕送り

10

--	--	--	--

 万円
千 百 十 一

企業年金・
個人年金等

11

--	--	--	--

 万円
千 百 十 一

その他の所得

12

--	--	--	--

 万円
千 百 十 一

公的年金・恩給による所得

国民年金、基礎年金、厚生年金（厚生年金基金からの年金を含む。）、共済年金、福祉年金、恩給などからの受取額を記入してください。【参考書類】年金振込通知書など

1支払期（2か月）分しか受給額がわからないときは、その金額を6倍するなどして、1年分の金額を記入してください。

**公的年金・恩給以外の
社会保障給付金による所得**

雇用保険法の失業等給付の受取額（育児休業給付、介護休業給付を含む。）を記入してください。

【参考書類】雇用保険受給資格者証

児童手当、子ども手当、児童扶養手当、特別児童扶養手当、児童育成手当などの児童に関する社会保障給付金の受取額を記入してください。

生活保護法による扶助、医療保険による傷病手当金・出産手当金、労働者災害補償保険などその他法令に基づく支給金の受取額を記入してください。

仕送りによる所得

定期的又は継続的に送られてきた金品の額を記入してください。品物は、時価に換算した額を記入してください。

単身赴任者を送り出している世帯で、単身赴任者の口座から生活費等として定期的に引き出している場合は、その金額をこちらの欄に記入してください。

**企業年金・
個人年金等による所得**

企業年金、生命保険会社・かんぽ生命・銀行・証券会社などの個人年金及び年金型商品、国民年金基金、農業者年金などからの受取額を記入してください。

厚生年金基金からの年金は、「公的年金・恩給」に記入してください。

その他の所得

上記以外の冠婚葬祭の金、各種祝い金、せん別、見舞金などの受取額を記入してください。

退職金、宝くじの当せん金などは含みません。

公的年金を受給している方

⇒ 年金振込通知書を参考にしてください。

2 年金振込通知書

以下の金額がご指定の金融機関の預貯金口座に振り込まれる
 ため、お支払いは平成 年 月から平成
 西暦年月に行われます。(裏面の支払予定日をご参照)

○年金の種類

○年金原簿の通年番号・年金コード

○年金受給者氏名

○振込先

○「年金支払額」及び「年金から特別徴収する保険料等」等の金額

年金支払額	円
介護保険料額	円
	円
所得税額	円
個人住民税額	円
控除税額込額	円

年金支払額 円

『公的年金・恩給』欄へ記入

※ 平成24年1年分の金額を記入してください。
 年金振込通知書は、1支払期(2か月)分が記入
 されています。

雇用保険を受給している方

⇒ 雇用保険受給資格者証をお持ちの方は、それを参考にしてください。

平成24年1月1日～12月31日の間に、ア～エの「失業等給付」の支給
 を受けた方は、その金額の合計を『雇用保険』欄へ記入してください。

- ア 求職者給付 (基本手当、技能習得手当、寄宿手当、傷病手当、高年齢求職者給付金、
 特例一時金、日雇労働求職者給付金)
- イ 就職促進給付 (就業促進手当、移転費、広域求職活動費)
- ウ 教育訓練給付
- エ 雇用継続給付 (高年齢雇用継続給付、育児休業給付、介護休業給付)

雇用保険受給資格者証

(第1面)

1. 支給番号	
3. 被保険者番号	4. 性別
	8.
	9. 支払
10. 資格取得年月日	
13. 60歳到達時賃金日額	14.
16. 求職申込年月日	
19. 基本手当日額	20. 所定給付日数
22. 離職前事業所名	
23. 再就職手当支給歴	24. 特殊表示(災害時、一括、巡相、市町村)

19. 基本手当日額

『雇用保険』欄へ記入

※ 雇用保険 (求職者給付の基本手当の場合)

平成24年1月1日～12月31日までの間に、
 実際に受給された日数に、基本手当日額を掛けた
 金額を記入してください。

【金額記入の注意】

万円未満は四捨五入して、万円単位で右づめに記入してください。
 (1～4,999円は「0万円」、5,000～14,999円は「1万円」)

質問 3

平成 24 年分の所得税の課税はありましたか。

あてはまる番号に○をつけ、
1に○をつけた方は金額も記入してください。

1 課税あり

所得税

				万		千円
--	--	--	--	---	--	----

千 百 十 一

千円未満は四捨五入して、千円単位で右づめに記入してください。
(1~499円は「0千円」、500~1,499円は「1千円」)

2 課税なし

※ 不動産譲渡にかかる所得税は、除いてください。

【参考書類】

- * 平成 24 年分 給与所得の源泉徴収票 [原本又は写し]
- * 年金振込通知書
- * 平成 24 年分の所得税の確定申告書 [控]

給与所得者の方

⇒ 平成24年分 給与所得の源泉徴収票[原本又は写し]を参考にしてください。
平成24年分 給与所得の源泉徴収票

支払を受ける者	住所又は居所	氏名 (フリガナ) (役職名)	支払金額	給与所得控除後の金額	所得控除の額の合計額	源泉徴収税額
控除対象配偶者の有無等	配偶者特別控除の額	配偶者特別控除の額(配偶者を除く)	基礎控除の額(本人を除く)	社会保険料等の金額	生命保険料の控除額	地震保険料の控除額
4	5	6	7	8	9	10

源泉徴収税額		
内	千	円

源泉徴収税額を『所得税』欄へ記入

確定申告を行った方

⇒ 平成24年分の所得税の確定申告書[控]を参考にしてください。

平成 24 年分の所得税の 申告書B

差引所得税額	39								
災害減免額、外国税額控除	40								

所得税額 = 差引所得金額③⑨ - 災害減免額、④⑩
外国税額控除 ~ ④⑪

↓
『所得税』欄へ記入

※ 申告書Aでは、③③ と③④の欄になります。

公的年金を受給している方

⇒ 公的年金から天引きされた方は、年金振込通知書を参考にしてください。

2年 年金振込通知書

以下の金額がご指定の金融機関の預貯金口座に振り込まれます。
なお、お支払いは平成 年 月 から平成 年 月 までの
各月に行われます。(前年度のお支払予定日迄にご参照ください。)

○年金の種類 年金
○年金振込の滞り年金番号・年金コード
○年金給付者氏名
○振込先

○[年金支払額]及び[年金から特別徴収する保険料等]等の金額

年金支払額	円
介護保険料額	円
所得税額	円
個人住民税額	円

所得税額	円
------	---

『所得税』欄へ記入

※ 平成24年1年分の金額を記入してください。
年金振込通知書は、1支払期(2か月)分が記入されています。

【金額記入の注意】

千円未満は四捨五入して、千円単位で右つづめに記入してください。
(1~499円は「0千円」、500~1,499円は「1千円」)

質問 4

平成 25 年度の住民税の課税はありましたか。

あてはまる番号に○をつけ、
1に○をつけた方は金額も記入してください。

1 課税あり →

住民税

				万		千円
--	--	--	--	---	--	----

千 百 十 一

千円未満は四捨五入して、千円単位で右づめに記入してください。
(1~499円は「0千円」、500~1,499円は「1千円」)

2 課税なし

※ 住民税は、道府県（都）民税と市町村（区）民税の合計です。
不動産譲渡にかかる住民税は、除いてください。

【参考書類】

- * 平成 25 年度 給与所得等に係る市町村（区）民税・道府県（都）民税
特別徴収税額の決定・変更通知書
- * 平成 25 年度 市町村（区）民税・道府県（都）民税
税額決定・納税通知書

給与所得者の方

⇒ 給与天引き以外に住民税を納めている方は、次の「給与所得者以外の方」を参考にしてください。

平成25年度 給与所得等に係る市町村（区）民税・道府県（都）民税特別徴収税額の決定・変更通知書を参考にしてください。

※ 様式は、各地方公共団体によって異なります。

平成 25 年度 給与所得等に係る市町村民税・道府県民税 特別徴収税額の決定・変更通知書 (納税義務者用)

姓 名	住所	氏 名	住 居 番 号
〒	〒	氏 名	住 居 番 号
姓 名	住所	氏 名	住 居 番 号
姓 名	住所	氏 名	住 居 番 号

特別徴収税額 ⑧

特別徴収税額 ⑧を『住民税』欄へ記入

給与所得者以外の方

⇒ 平成25年度 市町村（区）民税・道府県（都）民税税額決定・納税通知書を参考にしてください。

※ 様式は、各地方公共団体によって異なります。

市町村民税・道府県民税 税額決定 納税 通知書

第一号の三様式（第二号関係）

通知書の項目記載例：

「住民税額計」
「年税額」
「市町村（区）民税、道府県（都）民税の合計税額」
「普通徴収と特別徴収の合計額」

記載されている額を『住民税』欄へ記入

第 号	納 税 者	住 所
平成 25 年度	氏 名	氏 名
普通 通 税	市 町 村 民 税	道 府 県 民 税
1 市町村民税及び道府県民税決定の明細		
区	分	課 税
均	控 除 額 (1)	
控 除 額 (2)		
山 林 所 得 金 額 (3)		
進 出 職 所 得 金 額 (4)		
小 計 (2)+(3)+(4) (5)		
短 期 譲 渡 利 益 額 (6)		
長 期 譲 渡 利 益 額 (7)		
一 般 的 所 得 金 額 (8)		
所 分 税 得 金 額 (9)		
所 分 税 得 金 額 (10)		
所 分 税 得 金 額 (11)		
所 分 税 得 金 額 (12)		
所 分 税 得 金 額 (13)		
所 分 税 得 金 額 (14)		
所 分 税 得 金 額 (15)		
所 分 税 得 金 額 (16)		
所 分 税 得 金 額 (17)		
所 分 税 得 金 額 (18)		
所 分 税 得 金 額 (19)		
所 分 税 得 金 額 (20)		
所 分 税 得 金 額 (21)		
所 分 税 得 金 額 (22)		
所 分 税 得 金 額 (23)		
所 分 税 得 金 額 (24)		
所 分 税 得 金 額 (25)		
所 分 税 得 金 額 (26)		
所 分 税 得 金 額 (27)		
所 分 税 得 金 額 (28)		
所 分 税 得 金 額 (29)		
所 分 税 得 金 額 (30)		
所 分 税 得 金 額 (31)		

【金額記入の注意】

千円未満は四捨五入して、千円単位で右づめに記入してください。
(1~499円は「0千円」、500~1,499円は「1千円」)

質問5

平成24年分の社会保険料の支払いはありましたか。

医療保険（短期掛金）・年金保険（長期掛金）・介護保険・雇用保険のうち、ひとつでも支払いのあったときには、1に〇をつけ、支払った金額も記入してください。ひとつも支払いがなかったときには、2に〇をつけてください。

※ 保険料は、実際に支払った方が記入してください。

1 支払いあり

2 支払いなし

支払いのない方は、14ページにお進みください。

● 昨年1年間に支払った社会保険料の総額を記入してください。

記入のしかたは、11ページの【『社会保険料の総額』の記入のしかた】より、「給与所得者の方」又は「給与所得者以外の方」から選んで記入してください。

社会保険料の総額

01

--	--	--	--	--

万

--

千円

千 百 十 一

千円未満は四捨五入して、千円単位で右づめに記入してください。

● 支払った保険料の内訳を記入してください。

記入のしかたは、12ページの【『支払った保険料の内訳』の記入のしかた】より「給与所得者の方」又は「給与所得者以外の方」から選んで記入してください。

内 訳

医療保険
(短期掛金)

02

--	--	--	--	--

万

--

千円

千 百 十 一

年金保険
(長期掛金)

03

--	--	--	--	--

万

--

千円

千 百 十 一

介護保険

04

--	--	--	--	--

万

--

千円

千 百 十 一

雇用保険

05

--	--	--	--	--

万

--

千円

千 百 十 一

千円未満は四捨五入して、千円単位で右づめに記入してください。
(1~499円は「0千円」、500~1,499円は「1千円」)

【『社会保険料の総額』の記入のしかた】

給与所得者の方

下の書類をお持ちですか。複数お持ちの方は1つを選んでください。

- 持っている方
- 源泉徴収票 [原本又は写し] ⇒ 参考資料①
 - 確定申告書 [控] ⇒ 参考資料②
 - 住民税の納税通知書 ⇒ 所得控除欄の「社会保険料」

持っていない方
⇒ 12ページに進み、【『支払った保険料の内訳』の記入のしかた】を参考に、内訳を計算してから、内訳の合計を総額に記入してください

給与所得者以外の方

下の書類をお持ちですか。複数お持ちの方は1つを選んでください。

- 持っている方
- 確定申告書 [控] ⇒ 参考資料②
 - 住民税の納税通知書 ⇒ 所得控除欄の「社会保険料」

持っていない方
⇒ 12ページに進み、【『支払った保険料の内訳』の記入のしかた】を参考に、内訳を計算してから、内訳の合計を総額に記入してください。

【注意】 昨年、年の途中で支払い方法を変更された方（例：納付書から給与天引きに変更）は、それぞれで支払った保険料の合計を記入してください。

参考資料① 給与所得者の方

⇒ 平成24年分 給与所得の源泉徴収票 [原本又は写し] を参考にしてください。
平成24年分 給与所得の源泉徴収票

支払を受ける者	住所又は居所	氏名	性別	生年月日	職業	勤務先	所得控除の合計	社会保険料等の金額
支払金額	給与所得控除後の金額	社会保険料等の金額	所得控除の合計	社会保険料等の金額	社会保険料等の金額	社会保険料等の金額	社会保険料等の金額	社会保険料等の金額

『社会保険料の総額』欄へ記入

参考資料② 給与所得者の方 給与所得者以外の方

⇒ 平成24年分の所得税の確定申告書 [控] を参考にしてください。

住所	フリガナ	氏名	性別	職業	生年月日	所得控除の合計	社会保険料等の金額
収入	給与所得	社会保険料控除	社会保険料控除	社会保険料控除	社会保険料控除	社会保険料控除	社会保険料控除

社会保険料控除 ⑫

『社会保険料の総額』欄へ記入
※ 申告書Aでは、⑥欄になります。

【金額記入の注意】
千円未満は四捨五入して、千円単位で右づめに記入してください。
(1~499円は「0千円」、500~1,499円は「1千円」)

【『支払った保険料の内訳』の記入のしかた】

給与所得者の方

給与明細書をお持ちですか。

（給与から天引きされていない方は、右の「給与所得者以外の方」から選んでください。）

1年分を持っている方

⇒ 月々（ボーナス分を含む。）の給与明細書から、社会保険料の種類ごとに1年分の金額を合計して記入してください。

1年分は持っていないが、1か月分を持っている方

10ページの『社会保険料の総額』を記入した方

⇒ 計算式A

10ページの『社会保険料の総額』を記入していない方

⇒ 計算式B

給与所得者以外の方

保険料は、どのような方法で納付されましたか。

口座振替 又は 納付書（普通徴収）で納付された方

⇒ 納入（税）通知書又は各納付書から、国民健康保険料（税）、国民年金保険料、介護保険料の1年分の金額を記入してください。

公的年金から天引き（特別徴収）で納付された方

⇒ 参考資料③
年金振込通知書等から、医療保険料、介護保険料の1年分の金額を計算してください。

- 【注意】
- ・ 昨年、年の途中で支払い方法を変更された方（例：納付書から給与天引きに変更）は、それぞれで支払った保険料の合計を記入してください。
 - ・ 40歳以上の方で、医療保険と介護保険の区別ができない場合は、医療保険にまとめて記入してください。
 - ・ 「厚生年金基金」の支払いは年金保険に含めますが、「国民年金基金」、「農業者年金」の支払いは、14ページの質問7「企業年金・個人年金等」に含めてください。

参考資料③

給与所得者以外の方

2 年金振込通知書

以下の金額がご指定の金融機関の預貯金口座に振り込まれます。なお、お支払いは平成 年 月から平成 年 月までの各納付月に行われます。（裏面の支払予定日をご参照ください。）

○年金の種類 年金

○年金振込の納付年金番号・年金コード

○年金資格者氏名

○振込先

○「年金支払額」及び「年金から特別徴収する保険料等」等の金額

年金支払額	円
介護保険料額	円
	円
所得税額	円
個人住民税額	円
健康保険料額	円

※ 年金から特別徴収する保険料等とは、介護保険料、後期高齢者医療保険料、国民健康保険料（税）及び個人住民税となります。

介護保険料額	円
	円

以下のいずれかが印字
「国保保険料（税）額」
「後期高齢者医療保険料額」
「*****」

・ 介護保険料額
⇒ 『介護保険』欄へ記入

・ 国保保険料（税）額 又は
後期高齢者医療保険料

⇒ 『医療保険』欄へ記入

※ 平成24年1年分の金額を記入してください。
年金振込通知書は、1支払期（2か月）分が記入されています。

計算式A

『社会保険料の総額』を記入した方

① 給与明細書から転記

(1) 1か月分の 医療保険料 (短期掛金)	[] 円	×	(6) []	=	医療保険 (短期掛金) 02	[] 円
(2) 1か月分の 年金保険料 (長期掛金)	[] 円	×	(6) []	=	年金保険 (長期掛金) 03	[] 円
(3) 1か月分の 介護保険料	[] 円	×	(6) []	=	介護保険 04	[] 円
(4) 1か月分の 雇用保険料	[] 円	×	(6) []	=	雇用保険 05	[] 円

②

(5) 『社会保険料の総額』 ※10ページに記入した額と同じ金額					(1)~(4)を合計し、 千円未満は四捨五入	
社会保険料 の総額 01	[]	千円	=	[]	千円	= (6) []

計算後、千円未満は四捨五入して、千円単位で10ページに記入してください。

計算式B

『社会保険料の総額』を記入していない方

①

給与の月数 (回数) [] 回	+	ボーナス月数 [] 回	=	(1) []
---------------------	---	--------------	---	---------

(1年分のボーナスが給与の何か月に相当するか) 小数点第2位を四捨五入

② 給与明細書から転記

(2) 1か月分の 医療保険料 (短期掛金)	[] 円	×	(1) []	=	医療保険 (短期掛金) 02	[] 円
(3) 1か月分の 年金保険料 (長期掛金)	[] 円	×	(1) []	=	年金保険 (長期掛金) 03	[] 円
(4) 1か月分の 介護保険料	[] 円	×	(1) []	=	介護保険 04	[] 円
(5) 1か月分の 雇用保険料	[] 円	×	(1) []	=	雇用保険 05	[] 円

③

計算した『02 医療保険 (短期掛金)』から『05 雇用保険』の合計を千円単位で記入

社会保険料 の総額 01	[]	千円	※ 10ページの『01 社会保険料の総額』欄へ 忘れずに記入してください。
-----------------	-----	----	--

計算後、千円未満は四捨五入して、千円単位で10ページに記入してください。

質問 6

平成24年度の固定資産税の課税はありましたか。

あてはまる番号に○をつけ、
1に○をつけた方は金額も記入してください。

1 課税あり

固定資産税

				万		千円
--	--	--	--	---	--	----

千 百 十 一

千円未満は四捨五入して、千円単位で右づめに記入してください。
(1~499円は「0千円」、500~1,499円は「1千円」)

2 課税なし

※ 個人所有の土地・家屋（事業関係分は除く。）に対する税額です。
土地・家屋の名義人が否かにかかわらず、実際に支払った方が記入してください。

【参考書類】平成24年度 固定資産税・都市計画税通知書

質問 7

平成24年分の企業年金・個人年金等の掛金を
支払いましたか。

あてはまる番号に○をつけ、
1に○をつけた方は金額も記入してください。

1 支払いあり

企業年金・個人年金等

				万		千円
--	--	--	--	---	--	----

千 百 十 一

千円未満は四捨五入して、千円単位で右づめに記入してください。
(1~499円は「0千円」、500~1,499円は「1千円」)

2 支払いなし

※ 掛金は、実際に支払った方が記入してください。

【企業年金の例】 確定給付企業年金・確定拠出年金（企業型）などの本人拠出分

【個人年金の例】 生命保険会社・かんぽ生命・銀行・証券会社などの個人年金や年金型商品

【その他】 国民年金基金、農業者年金、確定拠出年金（個人型）



世帯主 又は 世帯を代表する方 は
引き続き下の **質問8** にもお答えください。

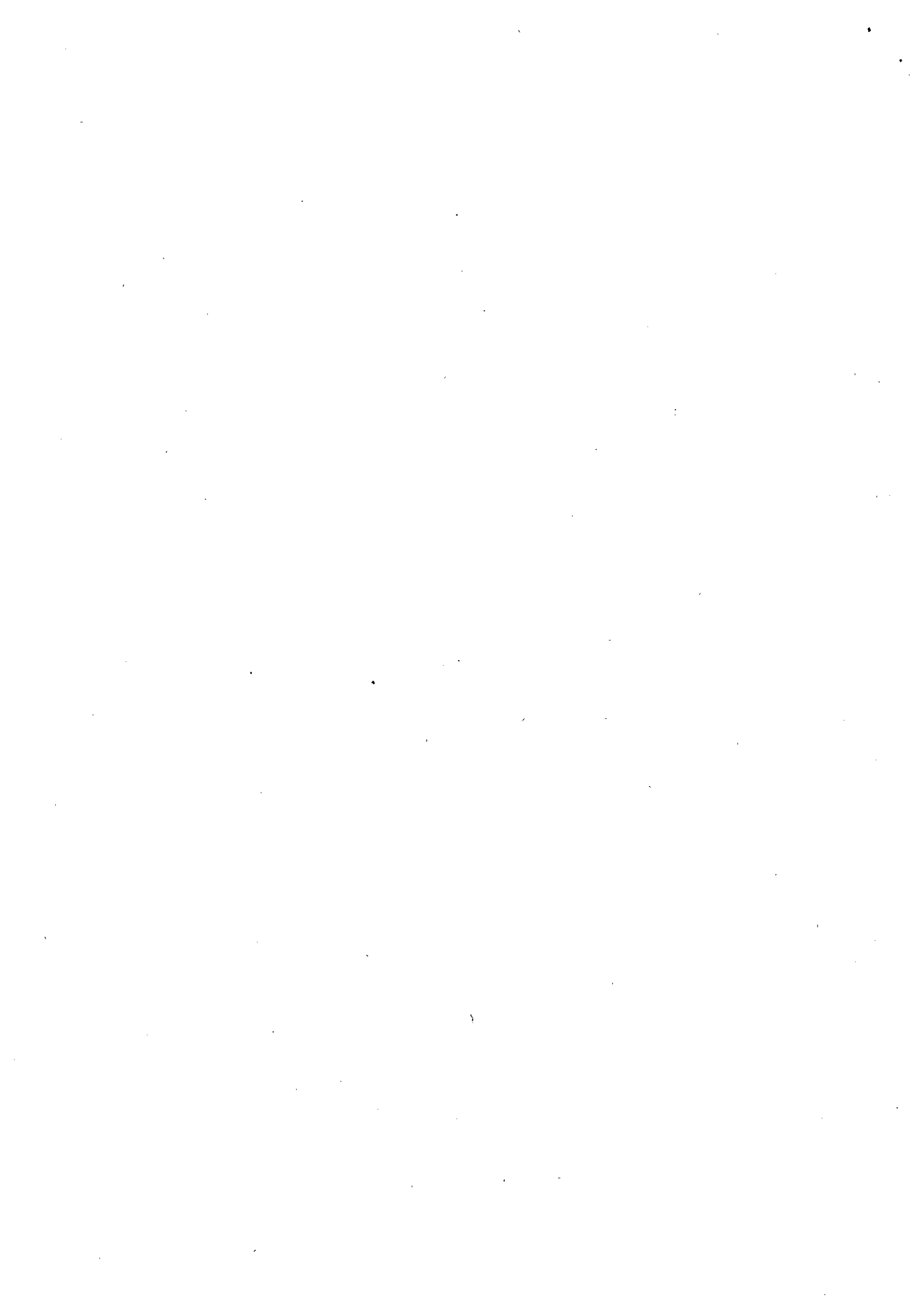
質問8

現在の暮らしの状況を総合的にみて、どう感じていますか。

あてはまる番号1つに○をつけてください。

- 1 大変苦しい
- 2 やや苦しい
- 3 普通
- 4 ややゆとりがある
- 5 大変ゆとりがある

ご記入ありがとうございました。





国民生活基礎調査【貯蓄票】

(平成25年7月11日調査)



調査員記入欄

地区番号		単位区番号		世帯番号	
------	--	-------	--	------	--

<記入上の注意>

- 『(貯蓄票)記入のしかた』をよくお読みになってから記入してください。
- 世帯主だけでなく世帯員全員の貯蓄、借入金の合計を記入してください。
- ここでいう貯蓄・借入金には、家計用だけでなく個人営業のための分も含めます。
- できるだけ黒のボールペンで記入してください。

この調査は、統計法に基づき国が実施する基幹統計調査です。
調査票情報の秘密の保護に万全を期していますので、ありのままを記入してください。

世帯主又は世帯を代表する方がお答えください。

質問1 あなたの世帯に以下に掲げる貯蓄はありますか(平成25年6月末日現在)。

「1 貯蓄あり」「2 貯蓄なし」のいずれかに○をつけ、貯蓄がある場合は合計貯蓄現在高を記入してください。

(1) ゆうちょ銀行、銀行、信用金庫、農業協同組合などの金融機関への貯金(預金)(通常貯金・普通預金、定額・定期貯金(預金)、積立貯金(預金)、当座預金等)	1 貯蓄あり 2 貯蓄なし
(2) 生命保険、個人年金保険、損害保険、簡易保険のこれまでに払い込んだ保険料(掛け捨ての保険は除きます。) 【計算例】 ・月々の払込み額×12(か月)×これまでに払い込んだ年数 ・年間の払込み額×これまでに払い込んだ年数	1 貯蓄あり 2 貯蓄なし
(3) 株式・株式投資信託(時価) 債券(額面)、公社債投資信託(時価) 金銭信託・貸付信託(額面)	※時価は6月末日で計算 1 貯蓄あり 2 貯蓄なし
(4) その他の預貯金(財形貯蓄、社内預金等)	1 貯蓄あり 2 貯蓄なし

合計貯蓄現在高 万円
億 千 百 十 一

質問2 あなたの世帯の貯蓄現在高は昨年(平成24年6月末日)と比べて変わりましたか。

あてはまる番号に○をつけ、貯蓄が減った場合は減少額、減少理由を記入してください。

1 貯蓄が増えた
2 貯蓄は変わらない
3 貯蓄が減った

減少額 万円
億 千 百 十 一

あてはまるすべての理由の番号に○をつけてください。

- 1 日常生活費への支出
- 2 土地・住宅の購入費
- 3 入学金、結婚費用、旅行等の一時的な支出
- 4 株式等の評価額の減少
- 5 その他

質問3 あなたの世帯に土地・家屋の購入、耐久消費財の購入、教育資金等の生活のために必要な資金の借入金はありますか(平成25年6月末日現在)。

あてはまる番号に○をつけ、借入金がある場合は合計借入金残高を記入してください。

1 借入金あり **合計借入金残高** 万円
億 千 百 十 一

2 借入金なし

ご記入ありがとうございました。

前回答申における「今後の課題」への対応

諮問第76号の答申「国民生活基礎調査に係る匿名データの作成について」（平成27年1月29日府統委第6号）における検討事項への対応

検討事項

前回の国民生活基礎調査の匿名データに係る統計委員会の答申では、「地域情報の付与及び再抽出の単位」、「所得票の内訳情報の提供」の2点が、今後検討する事項として答申されている。

対応策

1 「地域情報の付与及び再抽出の単位」について

（1）何らかの地域表章の妥当性と可能性

A・Bデータとは重複しないCデータを作成して、都道府県別表章の妥当性を再検証したが、25年調査は、22年調査同様集落悉皆抽出調査方法で引き続き行われ、回収状況も大きな変化が見られず「特定の県において、提供に耐えうる十分な客体数が確保できない等の問題点」が解消されていないことから、Cデータを作成して提供するのは困難である。

（2）世帯員単位でのリサンプリングによる匿名データ作成の可能性

地域情報は、公衆衛生や疫学分野の研究において有用性が高いことから、リサンプリングしたデータを作成・提供することについて可能性を検討したが、現在の匿名化手法での世帯員単位でのリサンプリングによる匿名データ作成については、困難といわざるを得ない。

2 「所得票の内訳情報の提供」について

所得内訳の提供について、世帯総所得のなかで大きな割合を占めている「雇用者所得」「公的年金・恩給」の2つについての提供可能性を検討したが、大いに匿名データの有用性を高めることから25年データから積極的に作成・提供していくこととする。

